久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事

図　面　リ　ス　ト

意匠			電気			機械		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
L-01	表紙　図面リスト	－	特E-01	特記仕様書（1）	－	特M-01	特記仕様書（1）	－
特A-01	特記仕様書（1）	－	特E-02	特記仕様書（2）	－	特M-02	特記仕様書（2）	－
特A-02	特記仕様書（2）	－						
特A-03	特記仕様書（3）	－	E-01	盤リスト（L－1）照明器具・照明制御機器参考姿図（改修後）	－	M-01	換気設備　機器表・凡例・平面詳細図（改修後）	S=1/30
			E-02	電灯設備　平面詳細図(改修後)	S=1/30	M-02	衛生設備　1階平面図（改修前・後）	S=1/100
A-01	付近見取図・全体配置図・参考断面図	S=1/1000・1/100	E-03	電灯設備　平面詳細図(改修前)	S=1/30	M-03	衛生設備　器具表・凡例・平面詳細図（改修後）	S=1/30
A-02	内部仕上表	－				M-04	換気設備　機器表・凡例・平面詳細図（改修前）	S=1/30
A-03	平面図	S=1/100				M-05	衛生設備　器具表・凡例・平面詳細図（改修前）	S=1/30
A-04	改修前　断面詳細図	S=1/30						
A-05	改修後　断面詳細図	S=1/30						
A-06	改修前　平面詳細図・展開図・天井伏図	S=1/50						
A-07	改修後　平面詳細図・展開図・天井伏図	S=1/50						
A-08	建具表	S=1/50						
A-09	各部詳細図	S=1/3・5・10						

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺		独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	課長	課長補佐	係長	担当	
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備 （衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	表紙・図面リスト	A1：S＝N.S A3：S＝N.S	有限会社 梅野設計 代表取締役　梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL(0942)35-2381						L－01

建築改修工事特記仕様書

工　事　概　要

工事名称	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事
工事場所	福岡県久留米市小森町一丁目1番1号　(久留米工業高等専門学校構内)
完成期限 (36)	令和３年　２月　１２日　(金曜日)

工事の種類
規模等

棟名称	専門教室棟			
工種	模様替			
構造　階数	RC・3			
建築面積	221　m2			
延べ面積	663　m2			
改修延べ面積	23.59　m2			
延べ面積計				663　m2
改修延べ面積計				23.59　m2

模様替内容	建具改修	電気設備改修	機械設備改修	
	内装改修			
	塗装改修			

(　)の数値は，当該既設建物の面積とする。

工作物等

一般特記事項

総則

1.この工事の受注者は，独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準，現場説明書，特記仕様書7枚，図面17枚，公共建築改修工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成31年版)，公共建築工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成31年版)，文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(平成31年版)，文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(平成31年版)，工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。

2.特記仕様書の適用方法
(1)═══で抹消した章及び項目の当該特記事項はすべて適用しない。
(2)・印で始まる事項及び表中の・印の事項は，○印の付した事項のみ適用する。
(3)表中の数字，文字又は記号を記入する事項は，記入してある事項のみ適用する。
(4)特記された材料，製造所，製品名，施工業者等の取扱いは，特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし，同等以上のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。
(5)左欄の(　)，((　))，<　>，<<　>>，[　]内の数値は，下記の各該当番号を示す。
各該当(項目)番号を示す。
(　)　：　公共建築工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成31年版)
((　))：　文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(平成31年版)
<　>　：　公共建築改修工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成31年版)
<<　>>：　文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(平成31年版)

建築基準法に基づき定められた区分等

建築基準法に基づき定められた区分等
風速　V0 = 34 m/s
地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ
積雪区分　建告示第1455号　別表 (三十八)

1章　一般共通事項

〈1.3.3〉電気保安技術者

この工事現場に下記のいずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

項目名	電気保安技術者
1　第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	・
2　1級電気工事工事施工管理技士の資格を有する者	・
3　高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において，電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	・
4　旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	・
5　公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	・
6　第1種電気工事士の資格を有する者	・
7　2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	⊙
8　第2種電気工事士(旧電気工事士)以上の資格を有する者	⊙
9　短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者	・

〈1.3.4〉工事用電力設備の保安責任者

この工事現場には，下記の資格を有する工事用電力設備の保安責任者を選任する。
⊙本校、電気主任技術者及び監督職員と協議すること。

〈1.3.5〉施工条件

この工事現場では，次の施工条件による。
・施工時間の指定　休日及び夜間
⊙工事における騒音及び振動が発生が考えられる工程は、監督職員と協議の上施工すること。
⊙改修部分以外については利用中のため、学生・教職員等への安全等に配慮すること。

〈1.3.7〉施工中の安全確保

六価クロム溶出試験の種類
・配合設計の段階で実施する環境庁告示46号溶出試験
・施工後に実施する環境庁告示46号溶出試験
・施工後に実施するタンクリーチング試験

〈1.3.8〉発生材の処理等

引渡しを要するもの
1)品名(　　)　2)引渡し先(久留米工業高等専門学校)　3)集積場所(構内発生材置場)

特別管理産業廃棄物
1)品名(ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル巾木、石綿セメント板、(石綿ケイ酸カルシウム板、ロックウール吸音板[アスベスト含有]))
2)受入場所　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)

現場において再利用を図るもの
1)品名(　床材)　2)使用箇所(　　室)

再生資源化を図るもの
1)品名　2)受入場所
(コンクリートガラ)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)
~~(アスファルトガラ)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)~~
(木類)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)
~~(発生土)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)~~
3)搬出に先立ち搬出計画書を作成し，監督職員に提出する。
4)日々の搬出量等をとりまとめた土砂等搬出調書を作成し，監督職員に提出する。
5)工事発注後に明らかになった事情により，上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議する。

関係法令に従い適切に処理するもの
1)品名　2)受入場所
(ボード類)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)
(陶器類)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)
(ガラス類)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)
~~(残土)　(福岡県筑後市大字徳久1番地　(有)フクナン開発)［運搬距離14.7km］)~~
3)搬出に先立ち搬出計画書を作成し，監督職員に提出する。
4)日々の搬出量等をとりまとめた土砂等搬出調書を作成し，監督職員に提出する。
5)工事発注後に明らかになった事情により，上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議する。

〈1.3.11〉施工中の環境保全等

低騒音型低振動型建設機械の使用

本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関わる規程」(平成9年7月31日建設省告示第1536号　最終改正　平成13年4月9日　国土交通省告示第487号)に基づき国土交通大臣が型式指定を行った低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。
ただしこれにより難い場合は，監督職員と協議の上，必要書類を提出するものとする。
低騒音型建設機械を使用する場合，現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い，監督職員に提出するものとする。

排出ガス対策型建設機械

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は，「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成17年法律第51号)に基づく技術基準に適合する機械，または，「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号)，「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は，平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」，またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査証明事業，もしくは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで，排出ガス対策型機械と同等とみなす。ただし，これにより難い場合は，監督職員と協議するものとする。
排出ガス対策型建設機械，又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合，現場代理人は，施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い，監督職員に提出するものとする。

種類	備考
バックホウ	ディーゼルエンジン(エンジン出力8kW以上，560kW以下)を搭載したものに限る。
ホイールローダ	
ブルドーザ	
発動電動機(可搬式，溶接兼用機を含む)	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kW以上，260kW以下)を搭載したものに限る。
空気圧縮機(可搬式)	
油圧ユニット(基礎工事用機械で独立したもの)	
ローラ類(ロードローラ，タイヤローラ，振動ローラ)	
ホイールクレーン(ラフテレーンクレーン)	

ディーゼル車排出ガス規制に適合した車両

①　受注者は本工事現場で使用し，又は使用される関係車両(以下「本工事関係車両」という)が，当該工事場所のディーゼル車排出ガス規制条例(以下「排出ガス規制条例」という。)の適用を受ける場合は，これに適合した車両を使用しなければならない。
②　受注者は，本工事の施工に先立ち，本工事関係車両の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車両の使用」について，排出ガス規制条例の遵守を施工計画書に記載しなければならない。
③　受注者は，本工事関係車両にディーゼル車を使用する場合には，車検証のコピーを保管し，本工事関係車両を把握しなければならない。
④　受注者は，取締りにより本工事関係車両に違法行為等があった場合には，直ちに監督職員に報告しなければならない。
⑤　受注者は，資機材の搬出入等において，資材納入業者に排出ガス規制条例を遵守させるものとする。

〈1.4.2〉材料の品質等

再利用を図るものは，次による。

〈1.4.4〉材料の検査等

材料名	備考

〈1.6.2〉技能士

適用工事種別	技能検定の職種
仮設工事	・　とび
鉄筋工事	・　鉄筋施工
コンクリ-ト工事	・　左官　・　型枠施工　・　コンクリート圧送施工
鉄骨工事	・　とび　・　鉄工
ブロック・ALCパネル工事	・　ブロック建築　・　ALCパネル施工
PCカーテンウォール工事	・　カーテンウォール施工
防水工事	・　防水施工
石工事	・　石材施工
タイル工事	・　タイル張り
木工事	・　建築大工
屋根，とい工事	・　建築板金　・　スレート施工
金属工事	⊙　内装仕上げ施工(鋼製下地)
左官工事	⊙　左　官
建具工事	⊙　サッシ施工　⊙　ガラス施工
塗装工事	⊙　塗　装
内装工事	⊙　内装仕上げ施工(床，天井仕上げ等)　・　表装
植栽工事	・　造　園

〈1.6.4〉一工程の施工の確認及び報告

標準仕様書に定めがあるもの以外で，次に示す工程については，施工の確認及び報告を監督職ものとする。

施工の確認及び報告を行う工程	備考
撤去工事	既設仕上げ材、下地材撤去が完了した段階
軽量鉄骨天井下地及び軽量鉄骨壁下地工事	下地が完了した段階
仕上げ塗材下地工事	下地調整が完了した段階

〈1.6.5〉施工の検査等

標準仕様書に定めがあるもの以外で、次について監督職員の検査を受ける。

〈1.6.7〉施工の立会い等

標準仕様書に定めがあるもの以外で，次に示す工事段階及び事項については，監督職員の立会いを受ける。
・
・

~~〈1.6.9〉化学物質の濃度測定~~

ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の揮発性有機化合物の室内濃度の測定
工事の施工完了後，引き渡しをするまでの間に，下表の測定室等の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し，指針値以下であることを確認し，報告する。

測定室等

棟名称	階	室名	採取本数
	1階		1検体
	2階		1検体
	3階		1検体
	外部		1検体

※上記の室について，それぞれ1検体につき2回採取を行い測定する。

測定物質，測定方法

種類	指針値	測定方法
ホルムアルデヒド	100μg/m3 (0.08ppm)以下	・ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法で採取し、高速液体クロマトグラフ法によって行う。 ・その他(　　)
トルエン	260μg/m3 (0.07ppm)以下	・次のうちのいずれかの測定方法とする。 固相吸着-溶媒抽出法で採取し、ガスクロマトグラフ-質量分析法によって行う。
キシレン	870μg/m3 (0.05ppm)以下	固相吸着-加熱脱着法で採取し、ガスクロマトグラフ-質量分析法によって行う。
エチルベンゼン	380μg/m3 (0.88ppm)以下	容器採取法で採取し、ガスクロマトグラフ-質量分析法によって行う。
スチレン	220μg/m3 (0.05ppm)以下	・その他(　　)
	μg/m3 (　ppm)以下	

※両単位の換算は、25℃の場合による。

試料採取方法
試料採取は室内及び外気の各1箇所を2回づつとし，対象室内を30分換気後に対象室内を5時間以上密閉し，その後概ね30分間採取の濃度(μg/m3)で表す。採取の時刻は揮発性有機化合物濃度の日変動で最大となることが予想される午後2時～3時頃に設定するのが望ましい。
室外についても室内と同様の条件で平行して採取する。試料採取は室の中央付近の少なくとも壁から1m以上離した高さ1.2～1.5mの位置を試料採取位置として設定する。外気の試料採取は外壁及び空調吸排気口から2～5m離した，室内の測定高さと同等の高さの所を試料採取位置として設定する。

測定結果が上回った場合の措置
測定結果が指針値を上回った場合は，監督職員と協議する。

上に示すほか，次の化学物質について濃度測定を行う。

~~〈1.7.2〉技術検査~~

本工事期間中に中間技術検査を，1回行う。
検査時期は，監督職員と協議するものとする。

〈1.8.2〉完成図

完成図の種類及び記入内容は次による。

種類	記入内容
完成図	発注図面に決定・変更内容を朱書記入・訂正したもの及びCADデータ。 CADデータのメディア(提出媒体)については，監督職員との協議による。
施工図	監督職員の指示による。

完成図の様式等は次による。
作成方法　監督職員の指示による。
原図サイズ　A3判　(二つ折り製本)
提出部数　2部

工事写真帳は(⊙　紙媒体　⊙　電子媒体)で　2　部提出する。

完成写真はキャビネ版とし黒表紙，工事名称等は金文字入りとする。
なお，完成写真には撮影方向等を明示した配置図，平面図を添付する。

本工事は，次の書類について電子納品の対象とする。

貸与する設計図のCADデータ著作者名:　久留米工業高等専門学校

貸与条件:貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成の為以外に使用しないこと。

提出方法:

〈1.8.3〉保全に関する資料

保全に関する資料　提出部数　2 部

工事区分

工事区分は，(図面番号　附-01)工事区分表　による。

2章　仮設工事

(2.2.2)ベンチマーク

基準位置　ＦＬ合わせとする
基準地盤高さ　―

(2.2.4)〈2.2.1〉足場その他

足場を設ける場合は，手すり据置き方式又は手すり先行専用足場方式とする。また、併せて，足場の外側及び内側（躯体側）の両方に手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置することとし，幅木はメッシュシート、防音シート及び防網等の有無に関わらず設置すること。

〈2.3.1〉既存部分の養生

既存部分(機器を含む)等の養生方法:監督職員の指示による。

〈2.3.2〉仮設間仕切り

―

3章　防水改修工事

〈3.1.4〉改修工法の種類及び工程

防水改修工法の種類　屋上：S1-M2、塔屋屋上：S-M2、パラペット・庇：X-2　工法
シーリング改修工法の種類　シーリング再充填　工法

〈3.2.5〉ルーフドレン回りの処理

改修ドレン　⊙設ける　・設けない

〈3.2.6〉既存下地の補修及び処理

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去　・行う　⊙行わない

〈3.3.3〉種別及び工程

アスファルト防水層の種別

種別	施工箇所
⊙　D－1	屋上設備基礎

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	特記仕様書（１）	―

有限会社 梅野設計 代表取締役　梅野克成
福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL(0942)35-2381

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

図面番号　特Ａ－０１

<3.4.3>
種別及び工程

改質アスファルトシート防水層の種別

種　別	施工箇所

<3.5.3>
種別及び工程

合成高分子系ルーフィングシート防水層の種別

種　別	仕上塗料	施工箇所
・　SI－M1		
⊙　SI－M2		屋上平場
・　SI－F2		
⊙　S－M2		塔屋 屋上平場
⊙　S－F2		塔屋 屋上立上り　屋上パラペット立上り

<3.6.3>
種別及び工程

塗膜防水の防水層の種別

種　別	施工箇所
⊙　X-2	パラペット、ハト小屋、設備基礎、庇、バルコニー

脱気装置

種　別	材　質	設置数量
⊙平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ⊙ステンレス ・鋳鉄 ・	1　個/　　m2
・立上がり部脱気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅	個/　　m2

<3.8.2>
材　　料

といの材種
・配管用鋼管　⊙硬質塩化ビニル管　・ステンレス管　t=0.6　・

ルーフドレン

種　別	防水下地，寸法等
・陸屋根用(・縦型　・横型)	鉛製　φ100
・バルコニー用	
⊙バルコニー中継用	鋳鉄製　φ100

耐酸被覆鋼板，ガルバリウム鋼板の製造所 ＿＿＿＿＿＿

鋼管製といの防露
施工箇所 ＿＿＿＿＿＿

4章　外壁改修工事

<4.2.2>
工法別使用材料

ひび割れ部充てん材

種　別	種　類	寸　法	施工箇所
・シーリング材			
⊙可とう性エポキシ樹脂	Uカットシール材充填工法	10x10	

可とう性エポキシ樹脂の製造所，製品名　(株)コニシ　E600
(株)アサヒボンド工業　EL55
セメダイン(株)　EP90　同等品以上

欠損部充てん材

種　別	製造所，製品名	施工箇所
・エポキシ樹脂モルタル		
⊙ポリマーセメントモルタル		

注入併用工法の注入材料

種　別	製造所，製品名	施工箇所
⊙エポキシ樹脂	(株)コニシ　E203/209 (株)アサヒボンド工業　576 アイカ工業(株)　JB-63　同等品以上	
・ポリマーセメントスラリ		

タイルの形状，寸法，きじの質及び工法等

施工箇所	形状	きじ			うわぐすり		役物		色		工法	製造所
	寸法(mm)	磁器	せっ器	陶器	施釉	無釉	あり	なし	標準	特注	工法名	製品名

※施工箇所の下線は、耐凍害性があるものを示す。
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない

塗膜はく離材　製造所，製品名 ＿＿＿＿＿＿

薄付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工　法	備　考
・外装薄塗材Ｓｉ ・可とう形外装薄塗材Ｓｉ ⊙外装薄塗材Ｅ ・可とう形外装薄塗材Ｅ ・防水形外装薄塗材Ｅ ・外装薄塗材Ｓ	⊙砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状	⊙吹付け ・ローラー塗り ・こて塗り	

厚付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工　法	備　考
・外装厚塗材Ｃ ・外装厚塗材Ｓｉ ・外装厚塗材Ｅ	・平たん状 ・凹凸状 ・吹放し ・凸部処理 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・ローラー塗り ・こて塗り	

複層仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工　法	耐候性	上塗りの種類		
				樹　脂	外　観	触　媒
・複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｓｉ ⊙複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・可とう形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材ＲＳ	・ゆず肌状 ⊙凹凸模様 ・凸部処理	⊙吹付け ・ローラー塗り	・耐候形1種 ⊙耐候形2種	⊙ｱｸﾘﾙ系 ・ｼﾘｶ ・ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系 ・ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系 ・ふっ素系	⊙つやあり ・つやなし ・ﾒﾀﾘｯｸ	・溶剤系 ・弱溶剤系 ⊙水系

可とう形改修用仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工　法	備　考
・可とう形改修用塗材Ｅ ・可とう形改修用塗材ＲＥ ・可とう形改修用塗材ＣＥ	・ゆず肌状 ・平たん状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り	

<4.3.4>
樹脂注入工法

ひび割れ部の注入状況の検査方法
・コア抜取り(抜取り個数 ＿＿＿個　コア抜取り部補修方法 ＿＿＿＿＿＿)

<4.4.4>
浮き部改修一般事項

アンカーピンニングの工法種別
・単独工法　⊙注入併用工法　・単独工法(注入口付)　・注入併用工法(注入口付)
(アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入併用工法)

5章　建具改修工事

<5.1.3>
改修工法

種別　・かぶせ工法　⊙撤去工法(　⊙はつりによる撤去　・油圧工具等による撤去　)

~~<5.2.2>~~
~~性能及び構造~~
~~<5.2.4>~~
~~形状及び仕上げ~~

外部に面するアルミニウム製建具の性能等級

性能等級	・A種	・B種	・C種
耐風圧等	・S-4　・	⊙S-5　・	・S-6　・
気密性	⊙A-3　・		・A-4　・
水密性	⊙W-4　・		・W-5　・
枠の見込み寸法(mm)	⊙70　・100		・70　・100

表面処理

建　具	種　別
外部に面する建具	・B-1種 ・B-2種(・ブラウン系　・ブラック　⊙ステンカラー　) ・
屋内の建具	・C-1種 ⊙C-2種(・ブラウン系　・ブラック　⊙ステンカラー　) ・

~~<5.2.3>~~
~~材　　料~~
~~<5.3.3>~~
~~材　　料~~

防虫網　・合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　⊙ステンレス(SUS316)製
線径(mm)　⊙ 0.25以上　・
網目(メッシュ)　⊙ 16～18　・

~~<5.3.2>~~
~~性能及び構造~~
~~<5.3.4>~~
~~形状及び仕上げ~~

外部に面する樹脂製建具の性能等級

性能等級	・Ａ種	・Ｂ種	・Ｃ種
耐風圧性	・S-4・	・S-5・	・S-6・
気密性	・A-4・		
水密性	・W-4・	・W-5・	
枠の見込み寸法(mm)	・60　・70　・80		

外部に面する樹脂製建具の遮音性能等級

種　別	・T-A種	・T-B種	
遮音性	・S-4・	・S-5・	

外部に面する樹脂製建具の断熱性能等級

種　別	・H-A種	・H-B種	
断熱性	・H-4・	・H-5・	

<5.4.2>
~~性能及び構造~~

外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ＿＿＿＿＿＿

<5.6.3>
~~材　　料~~

ステンレス鋼板　SUS304　・SUS430J1L　・SUS443J1　・SUS430

<5.6.4>
~~形状及び仕上げ~~

表面仕上げ　・HL仕上げ　・ ＿＿＿＿＿＿

<5.6.5>
~~工　　法~~

曲げ加工　・普通曲げ　・角出し曲げ(補強あり)

<5.7.2>
材質，形状及び寸法

建具用金物

スイングドア,スイングサッシの金物の種類	バックセット(mm)	製作所
・モノロック		
・本締り付モノロック		
⊙シリンダー箱錠(レバーハンドルを含む)		
⊙シリンダ本締り錠		
・空錠		
⊙押棒，押板		
・電気錠		

<5.7.4>
鍵

マスターキー　・作製する　⊙作製しない
グランドマスター　・作製する　⊙作製しない

~~<5.13.2>~~
~~材　　料~~

強化ガラス

材料板ガラスの種類	材料板ガラス	
フロート強化ガラス	・フロートガラス ・磨き板ガラス	・熱線吸収フロートガラス ・熱線吸収磨き板ガラス
板強化ガラス		

~~・熱線吸収板ガラス~~

材料板ガラスの種類	厚さ(mm)	色　調
・熱線吸収フロート板ガラス ・	・	・ブルー　・グレー　・ブロンズ ・グリーン

~~・熱線反射板ガラス~~

種　類	材料板ガラスの種類	日射熱遮へい率の区分	反射皮膜の使い方	色　調	映像調整
・熱線反射ガラス ・高性能熱線反射ガラス	・フロートガラス ・	・1種 ・2種 ・3種	・内面 ・外面	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・シルバー ・	・行う

素材が強化又は倍強度ガラスの場合の製造所 ＿＿＿＿＿＿

<5.13.3>
ガラス溝の寸法，形状等

ガラス溝の寸法，形状等

種　類	ガラス厚(mm)	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代
・強化ガラス				
・倍強度ガラス				

<5.13.5>
~~ガラスブロック~~
~~積み方~~

ガラスブロック

寸法及び厚さ(mm)	表面形状	色　調	化粧目地の色	シーリングの種類
		・クリア ・乳白 ・		

~~防火シャッター~~

工法
音声発生装置は，シャッターが降下を開始すると同時にスイッチが入り，閉鎖して停止するまで，継続して危険を知らせる音声を発するものとする。なお，この装置は，防火シャッターに近接して，柱，壁，天井等に設置する。

注意灯は，シャッターが降下を開始すると同時にスイッチが入り，閉鎖して停止するまで，継続して注意灯を点灯するものとする。また、点灯方式は点滅方式または回転方式とする。

シャッターへの危険表示は，シャッター両面の下部部分(全体の高さの1/2以下の位置)に，降下中の危険を知らせる文字，イラスト等を目立つように塗料による描き込み，またはシール等の貼り付けを行う。

6章　内装改修工事

~~<6.2.2>~~
~~工　　法~~

合成樹脂塗床材の除去　・機械的除去工法　・目荒し工法

~~<6.5.2>~~
~~木材~~

日本農林規格品　・用いる　・用いない

製材

施工箇所			
樹種名			
寸法			
材面の品質			
含水率			

代用樹種の使用　・禁止する　・禁止しない

造作用集成材

施工箇所			
樹種名			
寸法			
見付け材面の品質			
含水率			

造作用単板積層材

施工箇所			
寸法			
表面処理			
防虫処理			

その他ボード

名称	種　類	規格，区分等	厚さ(mm)
繊維板	・MDF		・3　・7　・9　・12　・15 ・18　・21　・24　・30
パーティクルボード	・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 ・研磨板	・10　・12　・15　・18　・20 ・30　・35　・40
	・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装	・10(難燃)　・12(難燃) ・15(難燃)　・18(難燃) ・20(難燃)　・25(難燃) ・30(難燃)　・35(難燃) ・40(難燃)

防腐処理　・行う　適用範囲 ＿＿＿＿＿＿
防蟻処理　・行う　適用範囲 ＿＿＿＿＿＿
防蟻処理は，非有機リン系とする。

防腐・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし，十分に乾燥を行う。
ただし，現場における加工が生じた場合には，加工した箇所に対し，現場にて防腐・防蟻を塗布することとする。

~~防虫処理~~

防虫処理　・行う　適用範囲 ＿＿＿＿＿＿

<6.8.2>
材　　料

下記以外のビニル床シートは，種類FS，柄は無地，厚さ2.0mmとする。

種　類	性　能	厚さ(mm)	柄	施工箇所
超防汚性ビニル床シート	防汚性　防カビ性 消臭性 抗菌性	2.0		図示 ロンシール工業 サニタリウム 同等品

下記以外のビニル床タイルは，厚さ2.0mmとする。

種　類	厚さ(mm)	寸法(mm)	施工箇所

誘導用，注意喚起用床材　視覚障害者用タイル

種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)
・塩化ビニル系	・300×300　・	・20　・
・レジンコンクリート系	・300×300　・	・30　・
・		

ゴム床タイル

寸法(mm)	厚さ(mm)	色　柄	製造所・製品名

<6.9.3>
~~材　　料~~

織じゅうたん

種　別	パイル形状	帯電性	製造所・製品名
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・カットパイル ・ループパイル ・ｶｯﾄ,ﾙｰﾌﾟ併用	・人体帯電圧3KV以下 ・	・

タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ(mm)	帯電性	工　法	製造所・製品名
・カットパイル ・ループパイル ・レベルループパイル ・カット,ループ併用		・人体帯電圧3KV以下 ・	・全面接着工法 ・グリッパー工法	

抗菌加工の有無　・有　・無

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	特記仕様書（２）	―

有限会社 梅野設計 代表取締役　梅野克成
福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL(0942)35-2381

独立行政法人　国立高等専門学校機構				
久留米工業高等専門学校				
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

図面番号
特Ａ－０２

ニードルパンチカーペット

厚さ(mm)	帯電性	製造所・製品名
・	・人体帯電圧3KV以下 ・	

抗菌加工の有無　・有　・無

タイルカーペット

種　別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	電気抵抗(Ω)	製造所・製品名
・一　種 ・　種	・カットパイル ループパイル	500×500 ・	・6.5 ・	・適用しない ・	東リ/GA-100 サンゲツ 田島ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ

校長室はハイグレードのものとする

〈6.10.2〉
~~材　料~~

合成樹脂塗塗床材

種　別		工法・仕上げの種類
・厚膜型塗床材	・弾性ウレタン樹脂系	・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
	・エポキシ樹脂系	・薄膜流し展べ工法（　・平滑　・防滑） ・厚膜流し展べ工法（　・平滑　・防滑） ・つや消し仕上げ　（　・平滑　・防滑） ・樹脂モルタル工法（　・平滑　・防滑）
・薄膜型塗床材		

〈6.11.2〉
~~材　料~~

フローリングの種別

単層フローリング	樹　種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	工　法
・フローリングボード	・ ・			・モルタル埋め込み工法 ・根太張り工法 ・直張り工法 ・接着工法
・フローリングブロック	・ ・	・15 ・	・303×303 ・	
・モザイクパーケット				

複合フローリング	樹　種	種　別	防湿処理	工　法
・複合1種 フローリング ・複合2種 フローリング ・複合3種 フローリング	・ ・	・A種 ・B種 ・C種	・行う	・モルタル埋め込み工法 ・根太張り工法 ・直張り工法 ・接着工法

((2.7.2))
~~材　料~~

[2編2章　特殊実験施設内装工事　(特記基準)]

フローリングの種別

フローリング	樹　種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	工　法

〈6.12.2〉
~~材　料~~

畳敷き

種別　・A種　・B種　・C種　・D種

D種の場合の畳床　・KT-　Ⅰ　・KT-　Ⅱ　・KT-　Ⅲ　・KT-K　・KT-N

〈6.13.2〉
材　料

せっこうボード，その他ボード及び合板張り

名称	種　類		規格・区分等	厚さ(mm)
せっこうボード製品	⊙せっこうボード(GB-R)			・9.5(準不燃) ⊙12.5(不燃)
				・9.5(準不燃) ・12.5(不燃)
				・12.5(不燃) ・15.0(不燃)
	・硬質せっこうボード(GB-R-H)			・9.5(不燃)　・12.5(不燃)
	・ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-S)			・9.5(準不燃) ・12.5(不燃)
	・せっこうラスボード(GB-L)			・9.5
	・強化せっこうボード(GB-F)			・9.5(不燃)　・12.5(不燃)
	・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ (GB-NC)		模様なし	・9.5(不燃)
			ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ	・9.5(不燃)
	⊙化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D)	普通	⊙ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ	⊙9.5(準不燃)・9.5(不燃)
			・木目模様	・9.5(準不燃) ・12.5(不燃)
		特殊		
吸音材料	・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(RW-B)		1号	・25
	・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(GW-B)		2号 32K	・25(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包)
	・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(DR)	内部用	普通	・9.0(不燃)　・
			立体模様	・12.0(不燃)
		軒天用	普通	・9.0(不燃)　・
			立体模様	・12.0(不燃)・
繊維強化セメント	・0.8けい酸ｶﾙｼｳﾑ板(FK)			・ 6.0 ・
	⊙化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板(FK-D)			⊙ 6.0
合板	特殊 ・天然木化粧合板		・なら　・しおじ ・	化粧単板　・0.3未満　・ 板　・4.2　・
	特殊 ・特殊加工化粧合板		・ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板	・4.0
	難燃合板 ・			・
	その他		・外装ﾓﾙﾀﾙ下地材	・9（ラスカット(ノダ)同等品）

木質系セメント板	・木毛セメント板	・硬質木毛セメント板 ・普通木毛セメント板	・15　・20 ・25　・30
	・木片セメント板	・硬質木片セメント板 ・普通木片セメント板	・12　・15　・18　・21 ・30
ハードボード(硬質繊維板) 素地ハードボード	・スタンダードボード	・未研磨板 ・研磨板	・2.5・3.5 ・5　・7
	・テーパードボード	・未研磨板 ・研磨板	・2.5・3.5 ・5　・7
	・内装用化粧ハードボード		・2.5・3.5・5　・7
	・外装用化粧ハードボード		・5　・7
インシュレーションボード(軟質繊維板)	・A級インシュレーションボード	・素板 ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材 ・押入収納内装材	・9　・12 ・15　・18
	・シージングボード		
・MDF			・3　・7　・9　・12　・15 ・18　・21　・24　・30
パーティクルボード	・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 ・研磨板	・10　・12　・15　・18　・20 ・30　・35　・40
	・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ ・プラスチックオーバーレイ ・塗装	・10(難燃)・12(難燃) ・15(難燃)・18(難燃) ・20(難燃)・25(難燃) ・30(難燃)・35(難燃) ・40(難燃)

〈6.14.2〉
~~材　料~~

壁紙張り

施工箇所	製造所・製品名	防火性能の級別
		・1級　・2級　・　級
		・1級　・2級　・　級
		・1級　・2級　・　級

〈6.16.3〉
〈6.16.4〉
~~陶磁器質タイル張り~~

タイルの形状，寸法，きじの質及び工法等

施工箇所	形状 寸法(mm)	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	工法 工法名	製造所 製品名

※施工箇所の下線は、耐凍害性があるものを示す。

試験張り　・行う　⊙行わない

見本焼き　・行う　⊙行わない

7章　塗装改修工事

〈7.1.3〉
材　料

塗料は，ホルマリン不検出のものとし，有機溶剤の含有の少ないものとする。

防火材料の指定

⊙屋内の壁，天井仕上げは防火材料とする。

・次の箇所は防火材料とする。

((2.1.2))
~~材　料~~

[2編2章　特殊実験施設塗装工事　(特記基準)]

抗菌性塗料の製品名(製造所)及びつやの程度

8章　耐震改修工事

コンクリートの品質

種類 / 摘要	普通コンクリート		
適用箇所	捨てコンクリート ｱｽﾌｧﾙﾄ防水保護ｺﾝｸﾘｰﾄ	新設壁・設備基礎・庇・階段 床開口塞ぎ・スロープ	左記以外部分
設計基準強度 (N/mm2)	18	21	—
スランプ (cm)	18	18	—
軽量コンクリートの気乾単位容積重量(kg/m3)			

〈8.1.5〉
~~鉄骨製作工場~~

工場性能評価グレード　M　以上の工場

〈8.2.1〉
鉄　筋

種類の記号	径(mm)	適用箇所
⊙SD295A	D10～16	構造図による。
⊙SD345	D19～25	構造図による。
⊙SD235	φ6	スパイラル筋

〈8.2.2〉
溶接金網

網目の形状，寸法	鉄線の径
100×100	φ6
150×150	
200×200	

〈8.2.7〉
~~型枠の材料~~

床型枠用鋼製デッキプレート

使用箇所	備　考

製造所

〈8.2.8〉
~~鋼　材~~

種　別	材　質	備　考
・棒鋼		
・平鋼		
・形鋼(H形)	SS400	柱･梁
・形鋼(その他)	SS400	梁
・鋼板(中・厚)	SS400	
・鋼板(薄)		
・軽量形鋼		
・角形鋼管		
・アンカーボルト	ABR400	
・		

〈8.3.4〉
~~継手及び定着~~

継手方法等

部　位	継手方法			径(mm)
柱，梁の主筋	・ガス圧接	・機械式継手	・溶接継手	
その他	⊙重ね継手			

主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ　⊙40d　・

耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ　・

柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ　⊙40d　・

柱に取り付ける梁の引張り鉄筋以外の鉄筋の定着長さ　・

〈8.3.8〉
ガス圧接

圧接完了後の試験　・超音波深傷試験

〈8.16.2〉
~~耐火被覆材の種別及び性能~~

種別　・ラス張りモルタル塗り

・耐火材吹付　（　・乾式工法　・半乾式工法　・半湿式工法　・湿式工法　）

・耐火板張り工法

所要性能

所要性能	構造区分	適用箇所

〈8.19.3〉
既存部分の処理

目荒し

部位	平均深さ (mm)	打継ぎ面に対する目荒し面積の割合 (%)
柱･梁	2～5mm(最大で5～7mm)	15～30%
増打ち部	2～5mm(最大で5～7mm)	10～15%

〈8.19.8〉
コンクリートの打込み

⊙流込み工法　⊙圧入工法

〈8.21.5〉
~~溶接金網巻き工法及び溶接ﾌｰﾌﾟ巻き工法~~

打込の工法の種類

・流込み工法　・圧入工法

9章　環境配慮改修工事

〈9.1.1〉
一般事項

アスベスト含有建材の処理の工事

工事種別	適用箇所
・除去処理	図示
・封じ込め処理	
・囲い込み処理	

施工調査

目視又は設計図書による施工調査は，次の事項について行い，調査結果をとりまとめ，図面等により記録し，監督職員に提出する。

1.アスベスト含有建材使用部位の確認
2.アスベスト含有建材の厚さ等の確認
3.アスベスト含有建材使用数量の確認
4.施工範囲等の確認

分析によるアスベスト含有の調査　・行う

調査対象室　ＬＡＮ管理室、便所、倉庫を除く全ての室

調査対象建材　ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル巾木、石綿セメント板、石綿ケイ酸カルシウム板、ロックウール吸音板

分析によるアスベストの含有の調査は，「改訂　既存建築物の吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術指針・同解説2006(日本建築センターH18.10)」(以下「センター指針」という。)の「3.3.3 資料採取による現地調査」に基づき行う。

ただし，アスベスト含有の分析方法は，JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。それ以外の分析方法とする場合は，監督職員と協議する。

アスベスト粉じん濃度測定

処理作業室，処理作業室以外の室内又は室外，負圧・除じん装置の排出吹き出し口，敷地境界において，アスベスト粉じん濃度の測定を行う。

1.アスベスト粉じん濃度の測定場所，測定点及び測定時期は下表による。

測定時期	測定名称	測定場所	測定点 (各施工箇所毎)	備考
処理作業前	測定　1	処理作業室内	各＿＿点	
	測定　2	処理作業室以外の室内又は室外	計＿＿点	大気
処理作業中	測定　3	処理作業室内	各＿＿点	
	測定　4	負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/sec以下の位置　各＿＿点	
	測定　5	処理作業室 敷地境界	4方向各＿＿点 (敷地境界)	
処理作業後 (シート養生中)	測定　6	処理作業室内	各＿＿点	
作業終了後 シート撤去後 1週間以内	測定　7	処理作業室内	各＿＿点	
	測定　8	処理作業室以外の室内又は屋外	計＿＿点	大気

2.アスベスト粉じん濃度の測定に当たっては，アスベスト粉じん濃度測定計画書を作成し監督職員に提出する。

3.下記の内容に基づくアスベスト粉じん濃度測定結果報告書を作成し，監督職員に提出する。

1)工事名称
2)測定結果
3)測定時間
4)測定位置(測定高さと共に図示する。)
5)測定時の作業内容
6)サンプリング条件(ホルダー直径，吸引時間，吸引空気量)
7)マウンティング方法
8)顕微鏡視野面積，計数視野数
9)計数アスベスト繊維について
10)測定時(各測定場所毎)の温度，湿度，風圧
11)その他必要な事項

アスベスト含有建材飛散防止処理施工計画書

施工調査の結果に基づき，アスベスト粉じんの飛散防止対策を盛り込んだアスベスト含有建材飛散防止処理施工計画書を「センター指針」の「5.3.2 施工計画書の作成」に基づき作成する。

施工におけるアスベスト粉じん飛散防止措置等

1.施工におけるアスベスト粉じん飛散防止措置等は，関係法令によるほか，〈9.1.3〉,〈9.1.4〉及び〈9.1.5〉に示すもののうち，特に次の事項については「センター指針」の「5.2.4 飛散防止措置等」に基づき実施する。

1)粉じん飛散抑制剤の使用　2)粉じん飛散防止処理剤の使用
3)負圧・除じん装置の設置　4)隔離シートの撤去

処理工事

1.除去処理工事は〈9.1.3〉及び〈9.1.4〉によるほか，「センター指針」の「吹付けアスベスト処理工事マニュアル」の「Ⅰ　除去処理工事」に定める「5.除去処理工事作業手順」に基づいて行う。

2.封じ込め処理工事は「センター指針」の「吹付けアスベスト処理工事マニュアル」の「Ⅱ封じ込め処理工事」に定める「5.封じ込め処理作業手順」に基づいて行う。

3.囲い込み処理工事は「センター指針」の「吹付けアスベスト処理工事マニュアル」の「Ⅲ囲い込み処理工事」に定める「5.囲い込み処理作業手順」に基づいて行う。

なお，軽量鉄骨天井下地，つりボルト用彫込みアンカーの取付けは〈6.6.1〉～〈6.6.4〉によることとし，アスベスト粉じん飛散防止措置を講じたうえで行う。

4.アスベスト含有成形板の撤去工事は，〈9.1.5〉によるほか，「非飛散性アスベスト廃棄物の適正処理について」(平成17年3月30日付 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課適正処理・不法投棄対策室長　環境産発第050330010) 別添の「非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」(以下「技術指針」という。)の「第3章　撤去」及び次の事項に基づき実施する。

５．上記によるほか，処理作業に伴い発生する飛散性アスベストを含む廃棄物（以下，「アスベスト廃棄物」という。）を作業当日に適切に処理可能となるよう作業手順を定める。なお，一日の作業終了時には床等を高性能真空掃除機等により清掃する。

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	特記仕様書（３）	—

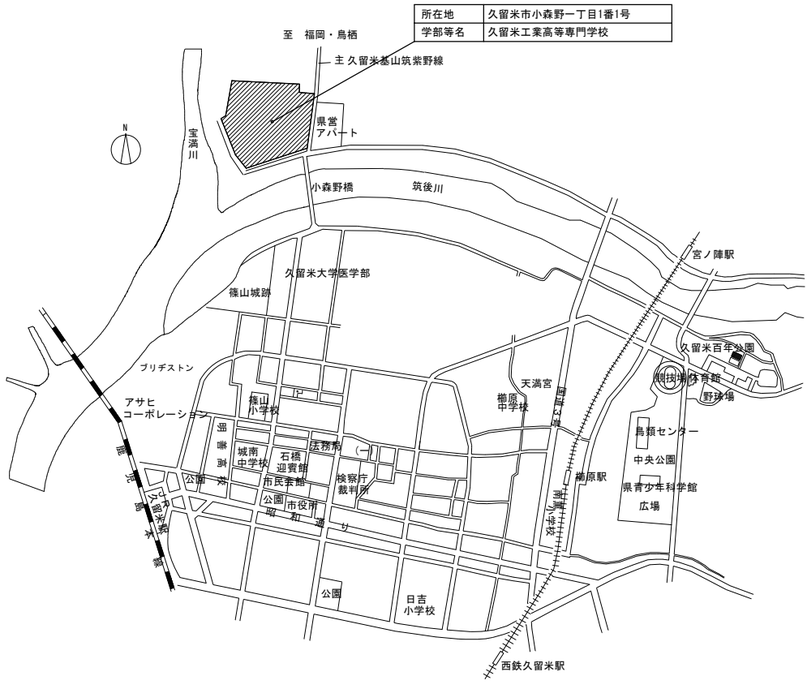
有限会社 梅野設計 代表取締役　梅野克成
福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL(0942)35-2381

独立行政法人　国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校

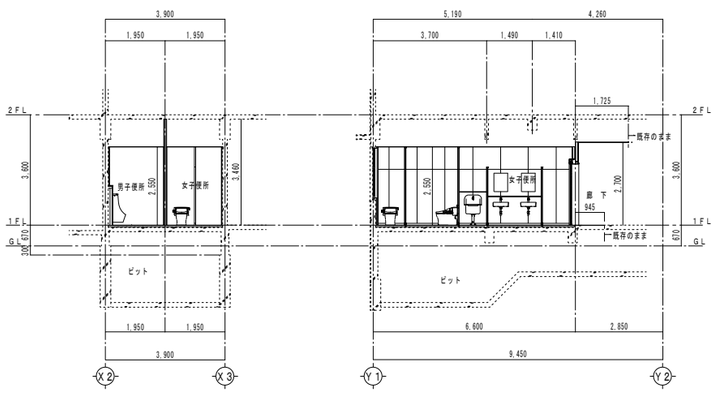
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

図面番号　特Ａ－０３

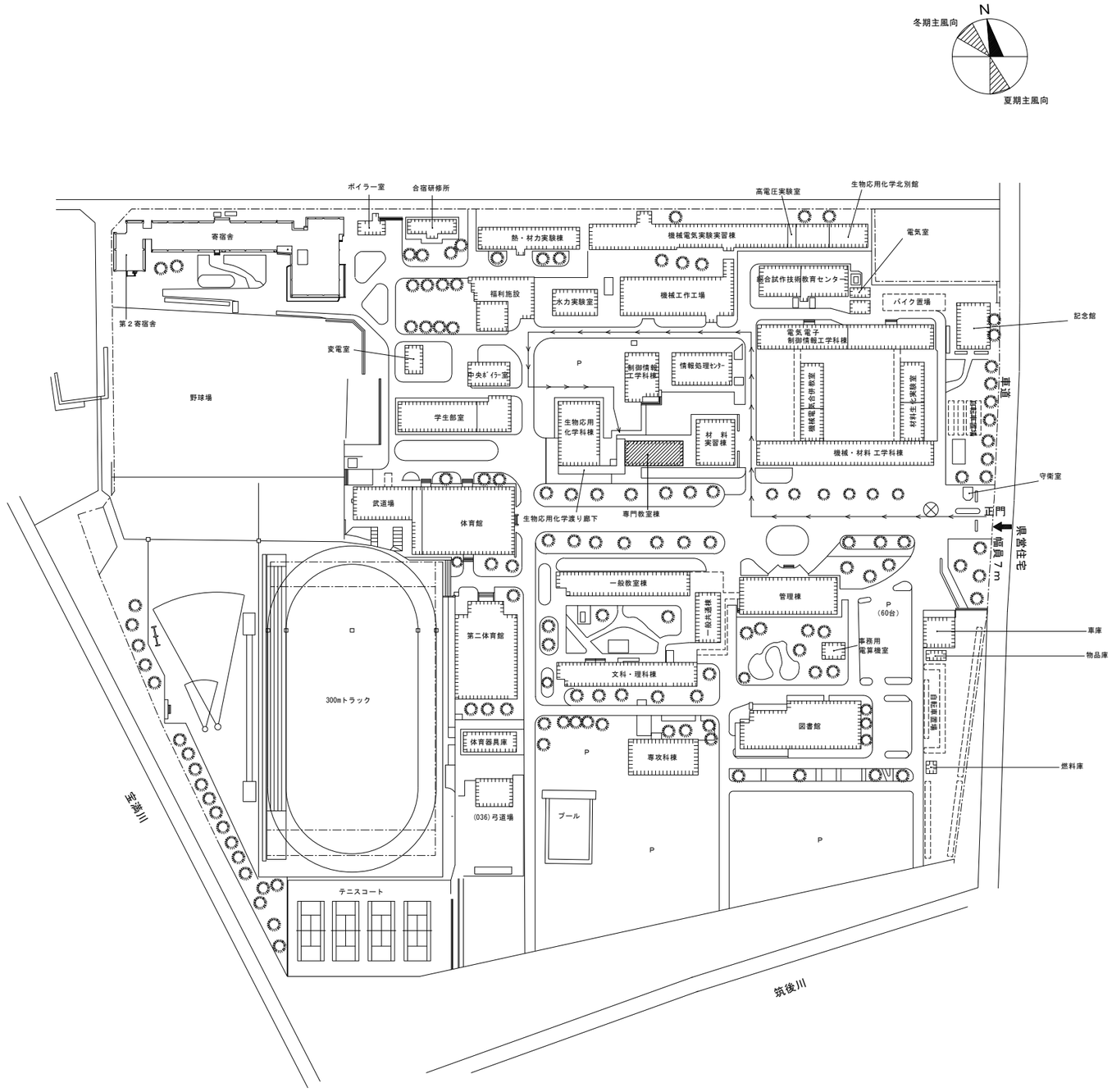
所在地	久留米市小森野一丁目1番1号
学部等名	久留米工業高等専門学校



付近見取図　　0　100m　　500m



参考断面図　　S＝1／100



全体配置図　　S＝1／1000

・・・本工事建物

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺		図面番号
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	付近見取図・全体配置図・参考断面図	A１：S＝1／1000・1／100 A３：S＝1／2000・1／200	有限会社 梅野設計 代表取締役　梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL（0942）35-2381	A－０１

独立行政法人　国立高等専門学校機構				
久留米工業高等専門学校				
事務部長	課長	課長補佐	係長	担当

内部仕上表

防火認定材料

イ	石綿スレート		NM－8576
ロ	石膏ボード（ＰＢ） ９．５mm		QM－9828
ハ	石膏ボード（ＰＢ） １２．５mm		NM－8619
ニ	有孔石膏ボード（ＰＢ）９．５mm		QM－9827
ホ	不燃石膏積層板 ９．５mm		NM－8613
ヘ	化粧石膏ボード ９．５mm		QM－9824
ト	ロックウール吸音板		NM－8599
チ	石綿珪酸カルシウム板（ケイカル板）		NM－8578
リ	化粧石綿珪酸カルシウム板（化粧ケイカル板）		NM－8579
ヌ	ビニル壁紙 不燃		NM－9923
ル	ビニル壁紙 準不燃		QM－9536
ヲ	木毛セメント板		QM－9020
ワ	難燃合板		RM－9340
カ	エコカラット	不燃	告示第１４００号
ヨ	ＡＬＣ１００	耐火	告示第１３９９号
タ	陶・磁器質タイル	不燃	告示第１４００号
レ	スクエアトーン・Ｄ スクエアート スクエアトーン・６		NM－0879
ソ	耐水石膏ボード（ＰＢ）９．５mm		QM－9826
ツ	化粧石膏ボード（不燃）９．５mm		NM－0296
ネ	ＥＰ・ＥＰ－Ｇ・ＳＯＰ（基材 不燃材）		NM－8585
ナ	ＥＰ・ＥＰ－Ｇ・ＳＯＰ（基材 準不燃材）		QM－9816
ラ	硬質木片セメント板		QM－9706
ム	内装用薄塗材Ｅ		NM－8572
ウ	音響調整板		RM－0026
ゐ			
ノ			
オ			

床

番号	1	2	8	9	10
仕上材	ビニル床シート	磁器質モザイクタイル	超防汚性ビニル床シート	超防汚性ビニル床シート	ビニル床シート
巾木					
壁					
天井					
厚			2.0	2.0	2.5
下地材	C金コテ	M金コテ	C金コテ	下地調整の上	下地調整の上
廻り縁			Con	Con	Con
塩ビ	1				
廊下					
洗面所	1				
男子便所		2			
女子便所		2			
廊下					10 一部
男子便所			8	9	
女子便所			8		

巾木

番号	16	21	22
仕上材	ソフト巾木	ソフト巾木	ソフト巾木
巾木	H100	H100	H60
壁			
天井			
厚			
下地材			
廻り縁			
塩ビ	16		
廊下			
洗面所			
男子便所			
女子便所			
廊下		21 一部	
男子便所			22
女子便所			22

壁

番号	26	27	36	37	38	38	39
仕上材	陶器質100角タイル	EP	化粧ケイカル板 突付工法	化粧ケイカル板 突付工法	EP		EP
巾木							
壁							
天井							
厚			6.0	6.0			
下地材	M金コテ	M金コテ	PB t 12.5	PB t 12.5	PB t 12.5 + t 12.5		下地調整の上
廻り縁	Con	Con	Con	LGS	LGS		M
塩ビ		27					
廊下							
洗面所	26						
男子便所	26						
女子便所	26						
廊下					38	38 一部	
男子便所			36	37			
女子便所			36	37			

天井

番号	46	47	54
仕上材	EP	化粧石膏ボード	化粧石膏ボード
巾木			
壁			
天井			
厚		9.0	9.5
下地材	ケイカル目透シ張 t 6.0		
廻り縁	LGS	LGS	LGS
塩ビ		47	
廊下			48
洗面所	46		
男子便所	46		48
女子便所	46		48
廊下			48
男子便所			48
女子便所			48

特記事項

別途工事（ ）

1．特記なき限りＳＵＳは３０４とする。
2．特記無き限りＬＧＳ壁下地はW65とする。
3．内装材は、全てＦ☆☆☆☆とする。
4．特記無き限り塗装面下地ＰＢ張りは、継ぎ目処理工法とする。
5．下地調整はＲＢ種とする。

改修前

室名	内装制限（下記）以上	床高（基準ＳＬより）ＳＬ±	天井高（基準ＦＬ）（ ）内は平均天井高
廊下		±0	2,700
洗面所		±0	2,650
男子便所		-50	2,650
女子便所		-50	2,650

改修後

室名	内装制限（下記）以上	床高（基準ＳＬより）ＳＬ±	天井高（基準ＦＬ）（ ）内は平均天井高
廊下		±0	2,700
男子便所		±0	2,550
女子便所		±0	2,550

備考

室名	カーテンブラインド用ボックス	室名札ピクトグラム	外廊壁断熱材	備考
男子便所		ピクト		汚廊ﾀｲﾙ 900×600 t 6.0 甲板：ｽﾄﾚｽﾌｫｰﾑ 汚廊ﾀｲﾙ 800×600 t 6.0 化粧鏡（設備）
女子便所		ピクト		甲板：ｽﾄﾚｽﾌｫｰﾑ 補助具掛けﾌｯｸ：SUS 3か所 化粧鏡（設備）

材料実習棟

略記号

材料
- S ――スチール
- AL ――アルミ
- SUS ――ステンレス
- LGS ――軽量鉄骨下地
- 鉄 ――プレート
- FB ――フラットバー
- Con ――コンクリート
- L.Con ――軽量コンクリート
- CB ――コンクリートブロック
- PC ――プレキャストコンクリート
- W ――木
- FAフロア ――フリーアクセスフロア
- T.B ――テラゾーブロック
- HB ――横型 ブラインド
- VB ――竪型 ブラインド
- C ――カーテン（防炎）
- PB ――石膏ボード貼
- FP板 ――フォームポリスチレンボード
- ケイカル板 ――石綿珪酸カルシウム板貼
- 化粧ケイカル板 ―― 化粧石綿珪酸カルシウム板貼
- RW板 ――ロックウール吸音板貼
- VT ――塩ビ系タイル貼
- M ――モルタル塗
- 防M ――防水モルタル塗

仕上
- 打放し（A）――コンクリート打放し（A種）
- 打放し（B）――コンクリート打放し（B種）
- 打放し（C）――コンクリート打放し（C種）
- 打放し（D）――コンクリート打放し（樹脂）
- モルタル塗 ――特記SUHは金鏝とする

塗装
- SOP ――合成樹脂調合ペイント塗
- AE ――アクリル樹脂エナメル塗
- EP ――合成樹脂エマルジョンペイント塗
- EP－G ――つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗
- VE ――塩化ビニル樹脂系エナメル塗
- CL ――天然塗料クリア塗
- OS ――油性ステイン仕上
- OSCL ――オイルステインクリアラッカー
- OSW ――オイルステインワックス仕上
- 防塵 ――防塵塗装
- UC ――ウレタンクリア塗
- WU ――水性ウレタン塗
- AEP ――アクリルエマルション塗

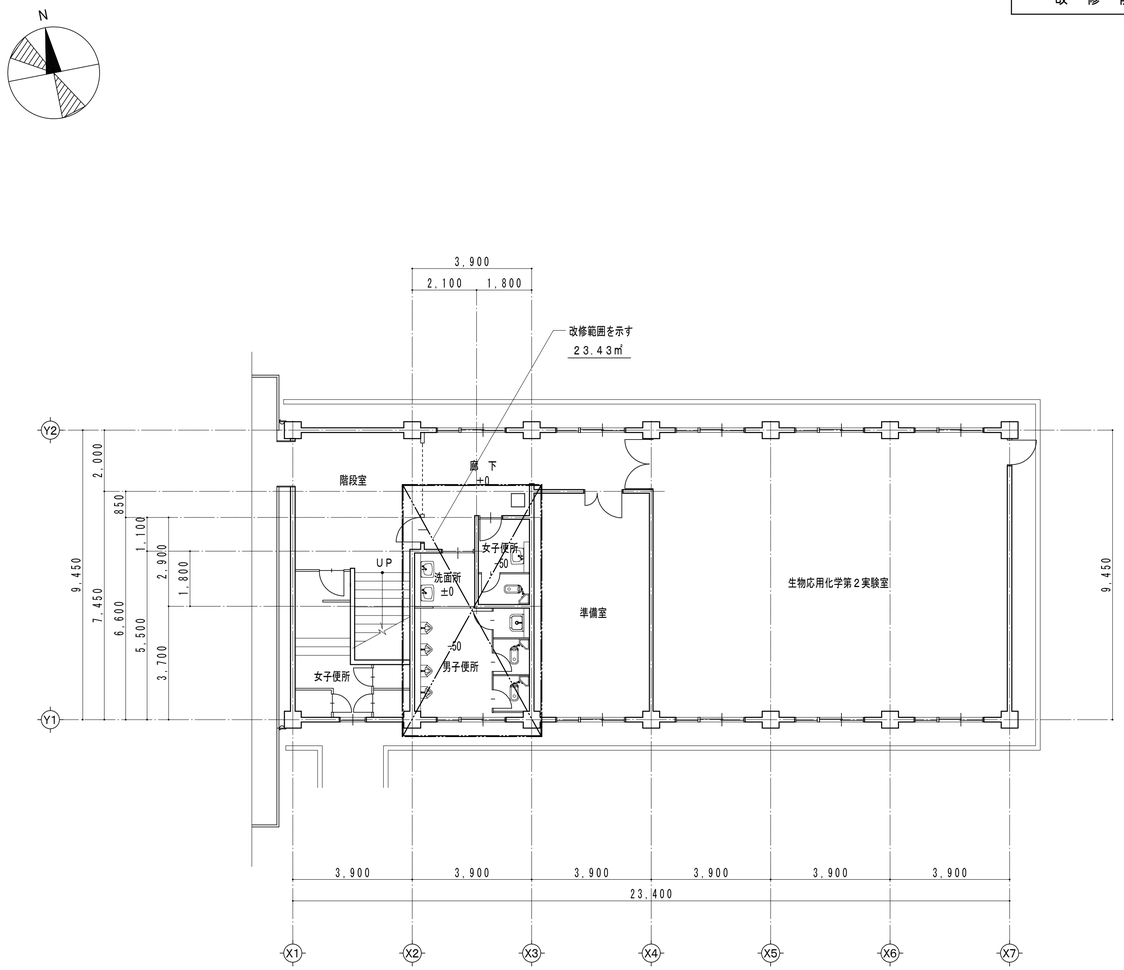
年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	内部仕上表	―

有限会社 梅野設計 代表取締役 梅野克成
福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号 TEL（0942）35-2381

独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

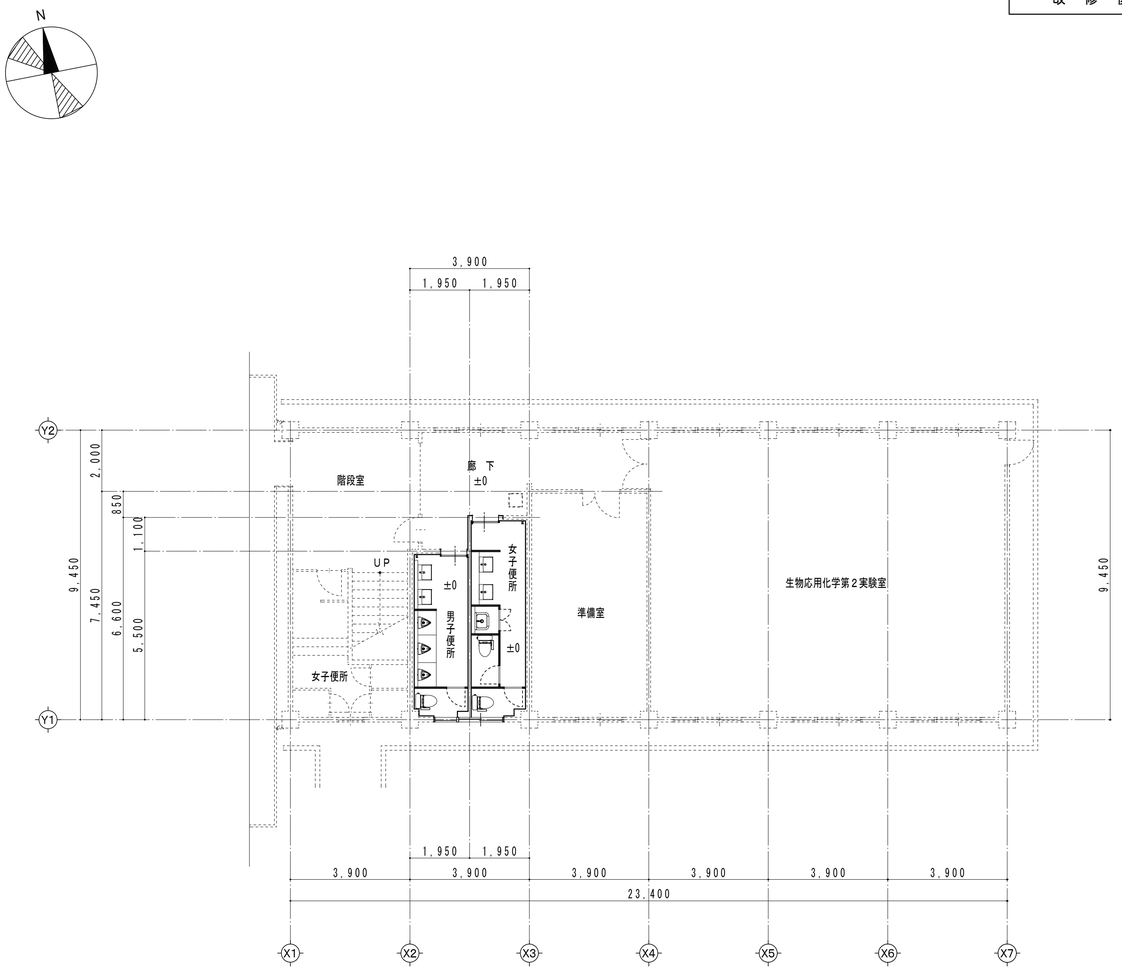
図面番号 A－02

改　修　前



改修前　１階平面図　1/100

改　修　後



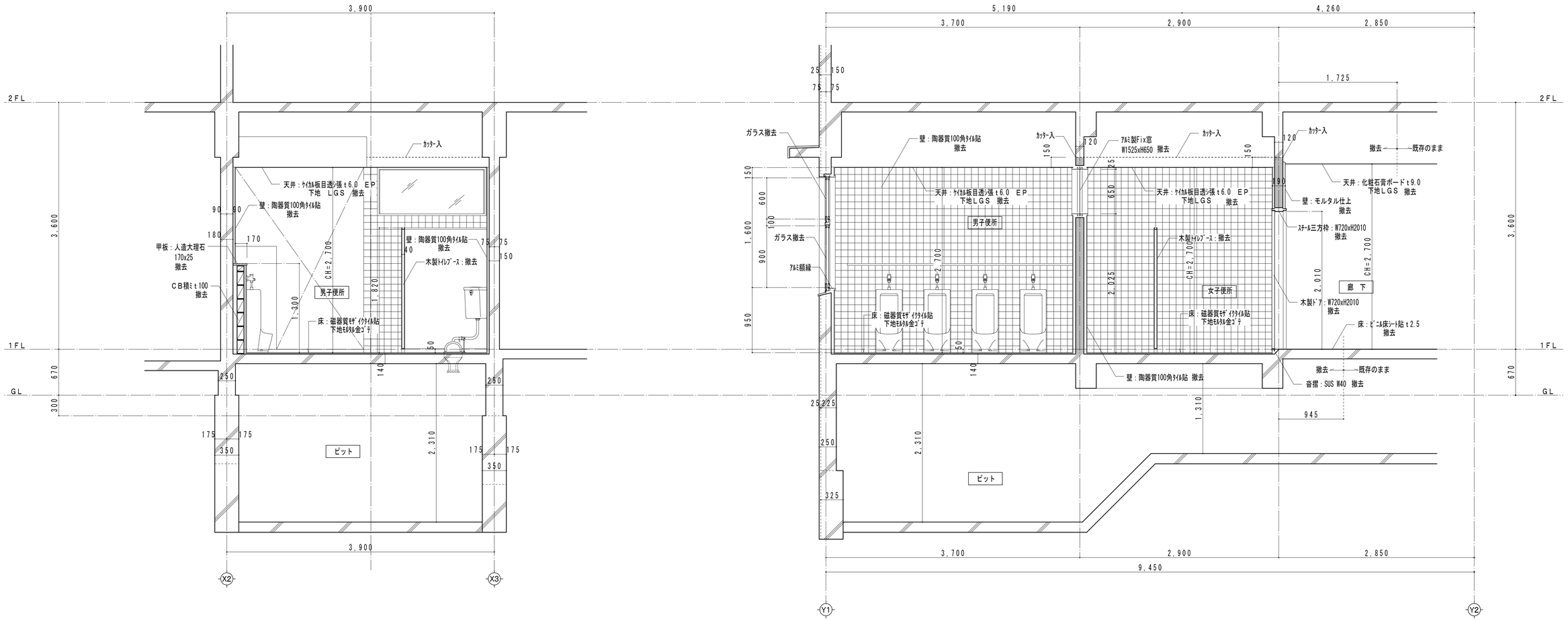
改修前　１階平面図　1/100

改修面積

3.90 x 6.60-1.95 x 1.10＝23.59㎡

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺		独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備 （衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	平　面　図	A1：S＝1／100 A3：S＝1／200	有限会社 梅野設計 代表取締役　梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL（0942）35-2381						A－03

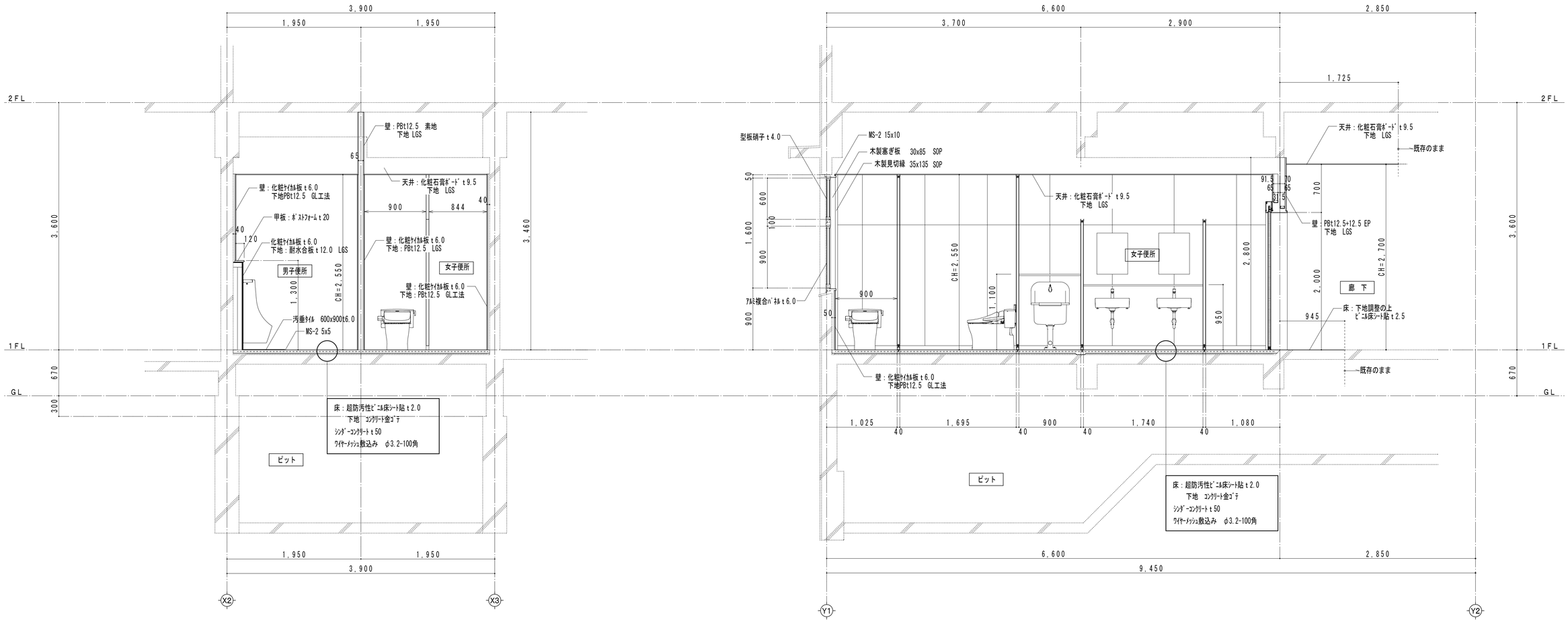
改　修　前



改修前　断面詳細図　1/30

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺		独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備 （衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	改修前　断面詳細図	A1：S＝1／30 A3：S＝1／60	有限会社 梅野設計 代表取締役　梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL(0942)35-2381						A－04

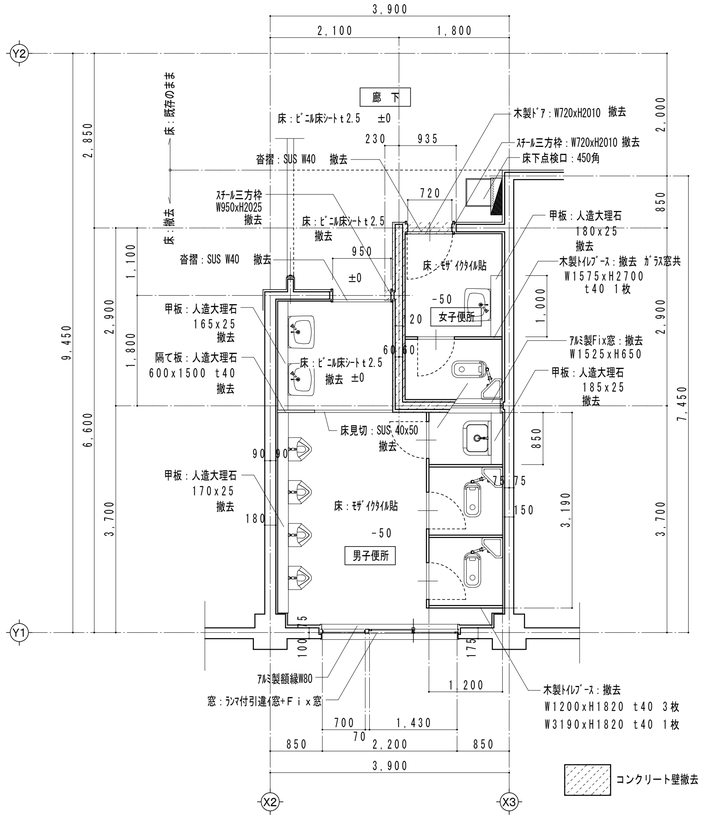
改 修 後



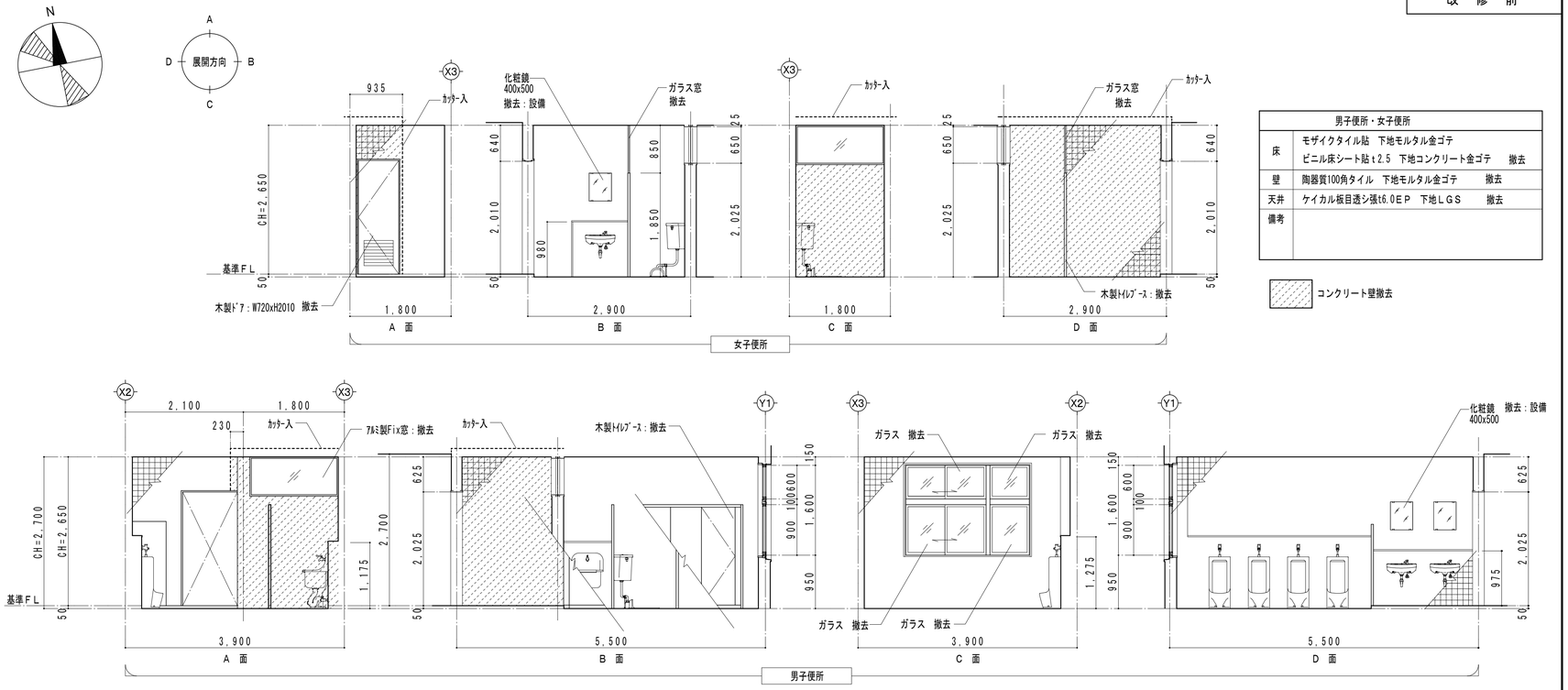
改修後 断面詳細図 1/30

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺		独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	改修後 断面詳細図	A1：S＝1／30 A3：S＝1／60	有限会社 梅野設計 代表取締役 梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号 TEL(0942)35-2381						A－05

改　修　前

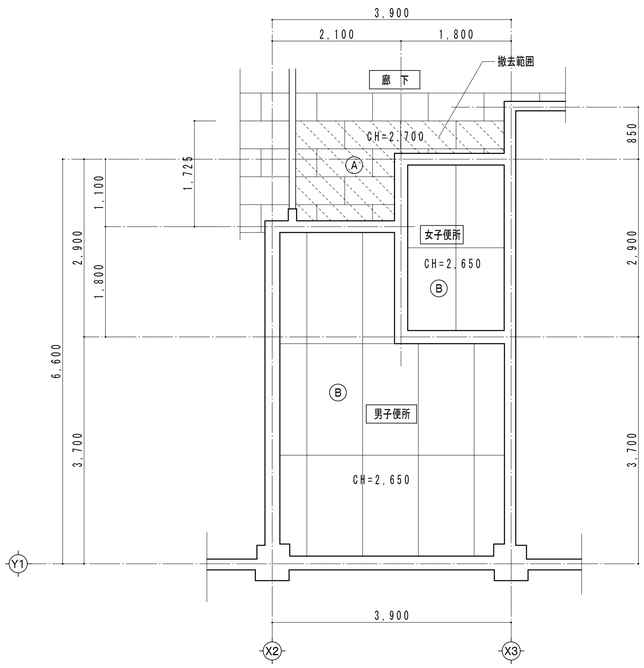


改修前　平面詳細図　1/50

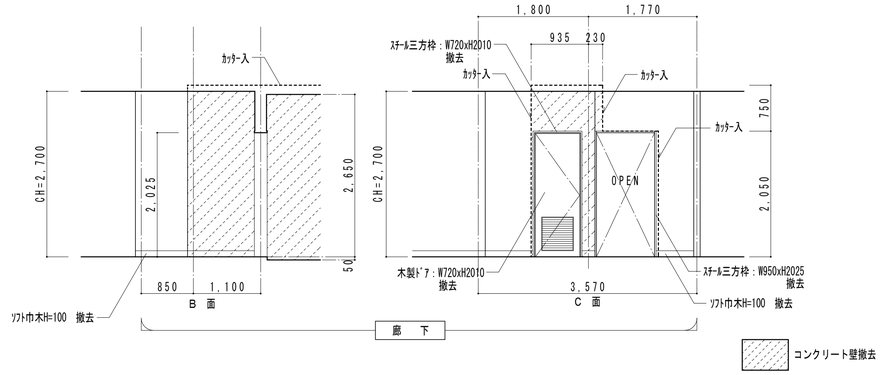


男子便所・女子便所	
床	モザイクタイル貼　下地モルタル金ゴテ ビニル床シート貼t2.5　下地コンクリート金ゴテ　撤去
壁	陶器質100角タイル　下地モルタル金ゴテ　撤去
天井	ケイカル板目透し張t6.0ＥＰ　下地ＬＧＳ　撤去
備考	

コンクリート壁撤去



改修前　天井伏図　1/50



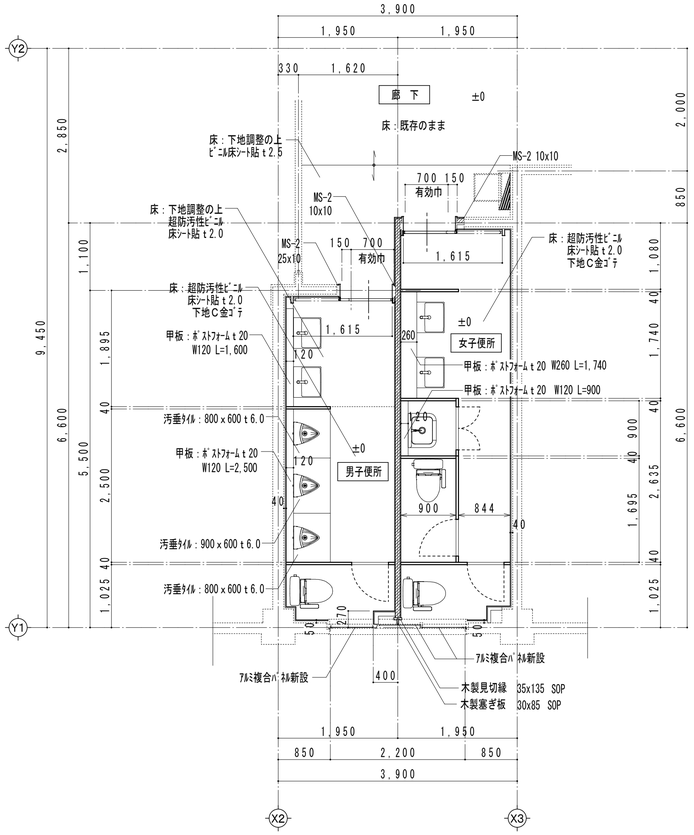
廊　下	
床	ビニル床シート貼t2.5　下地コンクリート金ゴテ　一部撤去
巾木	ソフト巾木　H=100　一部撤去
壁	モルタル金ゴテ　ＥＰ　一部撤去
天井	化粧石膏ボードt9.0　下地ＬＧＳ　一部撤去
備考	

コンクリート壁撤去

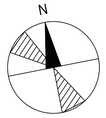
凡　例	
Ⓐ	化粧石膏ボードt9.0　下地ＬＧＳ　撤去
Ⓑ	ケイカル板目透し張t6.0ＥＰ　下地ＬＧＳ　撤去

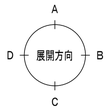
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	有限会社 梅野設計 代表取締役 梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL(0942)35-2381	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校 事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	図面番号
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備 （衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	改修前　平面詳細図・展開図・天井伏図	A1：S＝1／50 A3：S＝1／100							A－06

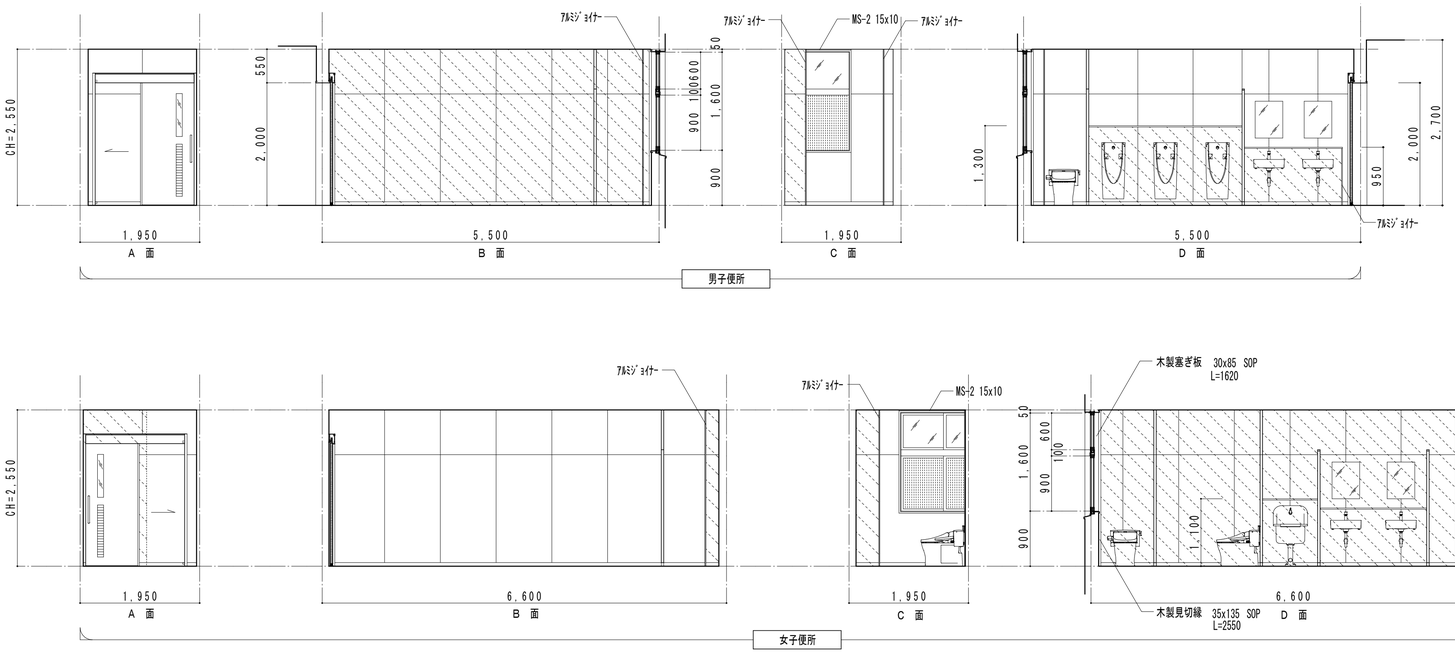
改　修　後



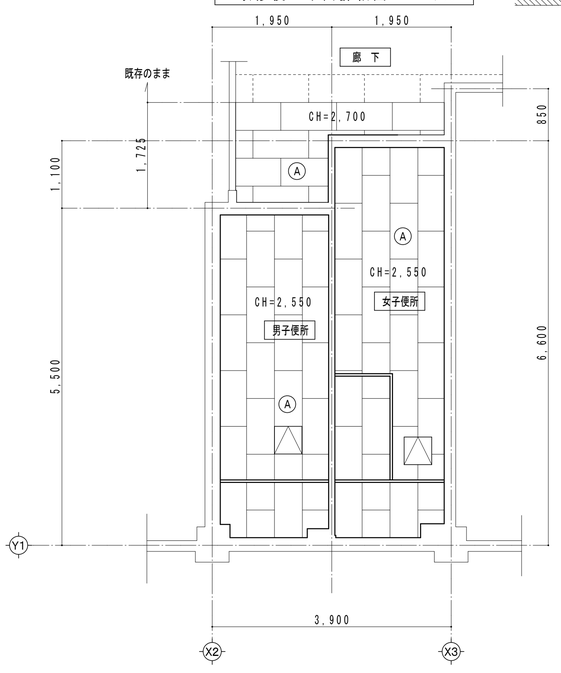
改修後　平面詳細図　1/50



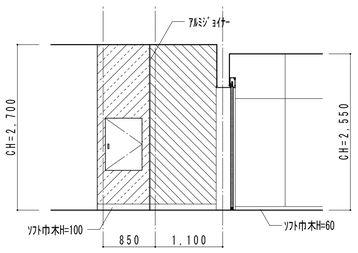


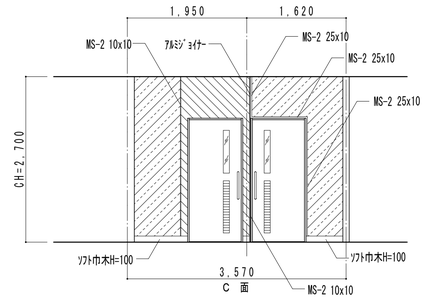


間仕切り壁は天井裏スラブ面までとする。



改修後　天井伏図　1/50





男 子 便 所		女 子 便 所	
床	超防汚性ビニル床シート t 2.0 下地調整の上　超防汚性ビニル床シート t 2.0	床	超防汚性ビニル床シート t 2.0
巾木	ソフト巾木　　H＝60	巾木	ソフト巾木　　H＝60
壁	化粧ケイカル板 t 6．0　突付張 下地 PB t 12．5	壁	化粧ケイカル板 t 6．0　突付張 下地 PB t 12．5
天井	化粧石膏ボード t 9.5	天井	化粧石膏ボード t 9.5
備考	LGS下地	備考	LGS下地

下地調整の上　EP

PB t 12.+12.5　EP　下地LGS

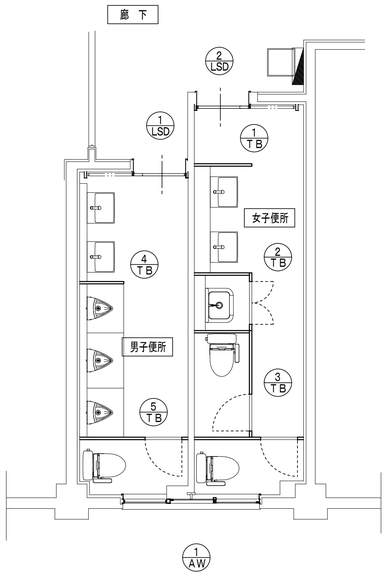
凡　　例	
Ⓐ	化粧石膏ボード t 9.5　　下地ＬＧＳ
	天井点検口450角　アルミ枠　　2箇所

廊　下	
床	下地調整の上　ビニル床シート貼 t 2.5
巾木	ソフト巾木　　H＝100
壁	PB t 12.5+12.5　EP
	下地調整の上　EP
天井	化粧石膏ボード t 9.5
備考	

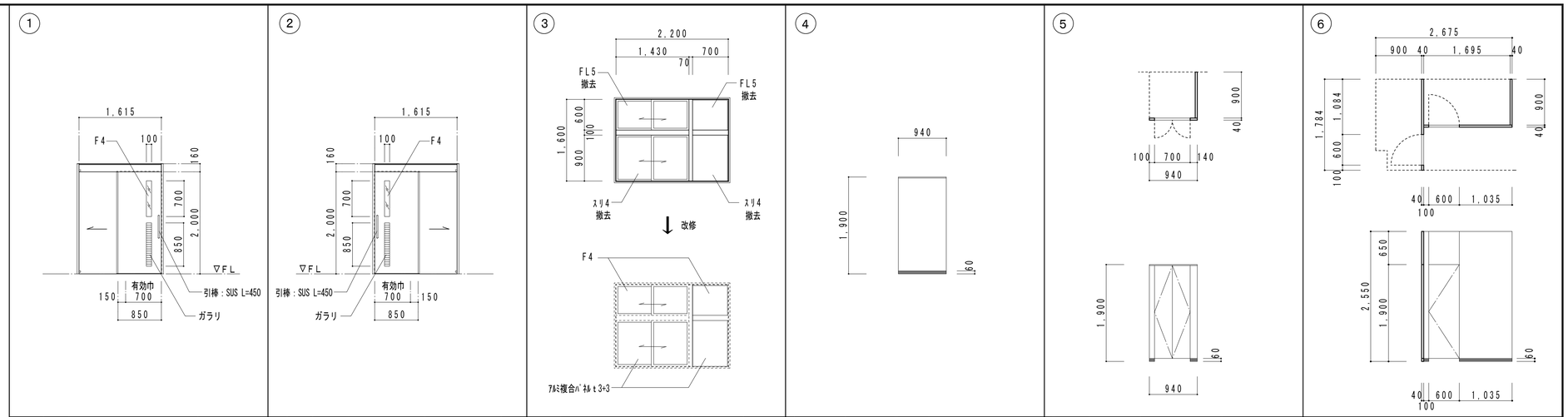
年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備 （衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	改修後　平面詳細図・展開図・天井伏図	A１：S＝1／50 A３：S＝1／100

有限会社 梅野設計 代表取締役　梅野克成
福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL（0942）35-2381

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	A－07



建具キープラン　1/50



符号	形式記号	名称	使用場所	数量	法規制 根拠	法規制 開閉	寸法 W′	寸法 H′	寸法 W	寸法 H	建具 見込	建具 材質	建具 仕上	ガラス 種類	ガラス 厚さ	グレイジング 種類	ガラリ 形状 成	ガラリ 材質 仕上	枠 形状 見込	枠 材質 仕上	沓摺 形状	沓摺 材質 仕上	敷居 形状	敷居 材質 仕上	水切 見込	水切 材質 仕上	額縁 見込	額縁 材質 仕上	支持金物	開閉調整金物 ドアチェック	フランス落し	アルミアングル	戸当り	網戸	他附属金物一式	排煙金物	操作金物	固定金物 施錠方式 外	固定金物 施錠方式 内	その他金物	備考
1 LSD	1	ハンガードア	男子便所	1			1,615	2,160	700	2,000	40	S 化粧鋼板		F	4.0	D	Gb	S 焼付	310	S SOP									HR				○		○		SUS 引				自閉装置（ストッパー付） アウトセット型
2 LSD	2	ハンガードア	女子便所	1			1,615	2,160	700	2,000	40	S 化粧鋼板		F	4.0	D	Gb	S 焼付	310	S SOP									HR				○		○		SUS 引				自閉装置（ストッパー付） アウトセット型
1 AW	3	ﾗｼﾏ付引違い+Ｆｉｘ窓	女子便所	1			2,200	1,600	1,430	900		AL 既存清掃		F APC	4.0 6.0	D				AL 既存清掃								AL 既存清掃												ガラス取替
1 TB	4	トイレブース　隔て板	女子便所	1			940	1,900			40	ペーパーコア 高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板																												エッジ（ビスレス）：アルミ合金押出形材 アルマイトクリア仕上 笠木・壁レール：アルミ合金押出形材 アルマイトクリア仕上 巾木：ステンレス鋼板（SUS）HL仕上
2 TB	5	トイレブース	女子便所	1			図 示	1,900			40	ペーパーコア 高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板																										スライドボルト方式	エッジ（ビスレス）：アルミ合金押出形材 アルマイトクリア仕上 笠木・壁レール：アルミ合金押出形材 アルマイトクリア仕上 巾木：ステンレス鋼板（SUS）HL仕上
3 TB	6	トイレブース	女子便所	1			図 示	2,550			40	ペーパーコア 高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板																									表 非	スライドボルト方式	エッジ（ビスレス）：アルミ合金押出形材 アルマイトクリア仕上 笠木・壁レール：アルミ合金押出形材 アルマイトクリア仕上 巾木：ステンレス鋼板（SUS）HL仕上
4 TB	7	トイレブース　隔て板	男子便所	1			720	1,900			40	ペーパーコア 高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板																												エッジ（ビスレス）：アルミ合金押出形材 アルマイトクリア仕上 笠木・壁レール：アルミ合金押出形材 アルマイトクリア仕上 巾木：ステンレス鋼板（SUS）HL仕上
5 TB	8	トイレブース	男子便所	1			図 示	2,550			40	ペーパーコア 高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板																									表 非	スライドボルト方式	エッジ（ビスレス）：アルミ合金押出形材 アルマイトクリア仕上 笠木・壁レール：アルミ合金押出形材 アルマイトクリア仕上 巾木：ステンレス鋼板（SUS）HL仕上

「符号」欄の略号

- SD　スチール製扉
- SSD　ステンレス製扉
- AD　アルミ製扉
- WD　木製扉
- TD　強化ガラス戸
- SW　スチール製窓
- SSW　ステンレス製窓
- AW　アルミ製窓
- WW　木製窓
- SG　スチール製ガラリ
- SSG　ステンレス製ガラリ
- AG　アルミ製ガラリ
- WG　木製ガラリ
- GB　ガラスブロック窓
- GS　ガラススクリーン窓
- SH　スチール製シャッター
- SSH　ステンレス製シャッター
- OS　スチール製オーバースライダー
- ALL　アルミ製リングリルシャッター
- TL　アルミ製天窓
- SFW　防煙垂壁
- PT　パーティション
- フ　襖
- W フ　戸襖
- シ　紙障子
- AC　アクリル板
- CD　クロセットドア
- LSD　軽量スチールドア
- SF　スチール製枠
- AF　アルミ製枠
- SSF　ステンレス製枠
- WF　木製枠
- 非　非常用進入口
- SLW　スライディングウォール

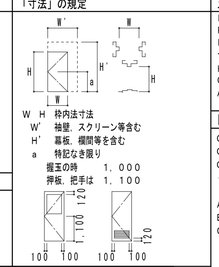
「法規制」欄の略号

- 甲　施行令112条14項二号を満たす特定防火設備
- 乙　法2条九号の二ロの政令で定める防火設備
- 不燃　不燃扉（防煙区画）
- 開　常時開放式
- 閉　常時閉鎖式（無印）
- 熱　熱感知器連動
- 煙　煙感知器連動
- ヒュ　温度ヒューズ連動
- 防　防煙性能

「根拠」欄の略号

- 延　延焼の恐れのある部分
- 竪　竪穴区画
- 異　異種用途区画
- 火　防火区画
- 面　面積区画

「寸法」の規定



支持金物の略号

- H　丁番（枚数は右記）
- PH　ピボットヒンジ
- FH　フロアーヒンジ
- T　戸車、レール
- HR　ハンガーレール
- G　ガイドアーム
- AH　オートピボットヒンジ

開閉調整金物欄

- O　ドアーチェックストップ無
- Os　ドアーチェックストップ有
- Of　ドアーチェックヒューズ付
- ・排煙オペレーター方式は、下記略号で排煙金物欄に記入する
- A　チェン開放式　　手動開放装置
- B　手動ハンドル式　　露　露出式
- C　電動式　　埋　埋込式
- H：800<1,500

操作金物の略号

- 握　握玉　把　把手　押　押棒　引　引棒
- ド　ドアハンドル　　鎧　鎧込把手
- レ　レバーハンドル　　グ　グレモン錠
- ケ　ケースハンドル
- ・操作金物の程度は操作金物欄下部に指示する

固定金物の略号

- 空　空錠
- ケ　ケースロック
- 本錠　本締錠
- 引　引戸錠
- 表　表示錠
- レ　レバーハンドル錠
- 点　点検口錠
- 引チ　引違イ戸錠
- モ　モノロック
- 本モ　本締付モノロック
- 面　面付箱錠
- プ　プッシュプル錠
- 框　框扉用錠

施錠金物の略号

- シ　シリンダー
- サ　サムターン
- 非　非常時開錠
- 空　空錠
- ・施錠方式は「外・内」欄に指示する

備考欄

下記該当項目がある場合記入する

- ・扉の気密性
  - PAT　完全エアタイト型
  - AT　エアタイト型
  - SAT　準エアタイト型
- ・扉の遮音、吸音性能
- ・扉のX線防護性能
- ・オートドアー（マット式、電磁式、タッチ式等、感知方式を付記する）
- ・電気錠
- ・警備保証用欠き込み
- ・ガラリダンパー付
- ・ダクト取付アングル

その他金物欄

下記該当項目がある場合記入する

- ・雨戸
- ・網戸
- ・ガラリ用防虫網
- ・クリーニング用フック
- ・ローラーキャッチ
- ・ドアースコープ
- ・レリーズ
- ・新聞受
- ・牛乳受
- ・外部フード
- ・チェーンブロック
- ・ドアガード
- ・マグネットキャッチ

ガラスの略号

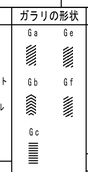
- FL　フロートガラス
- F　型板ガラス
- PW　網入り磨きガラス
- FW　網入り型板ガラス
- PWL　線入り磨きガラス
- FWL　線入り型板ガラス
- G　スリガラス
- GB　ガラスブロック
- HFL　熱線吸収ガラス
- HPW　熱線吸収網入り磨きガラス
- HFW　熱線吸収網入り型板ガラス
- T　強化ガラス
- R　熱線反射ガラス
- P　ペアーガラス
- FR　耐火ガラス
- PC　ポリカーボネート
- AC　アクリル板
- APC　アルミ複合パネル

グレイジングの略号

- A　軟質塩化ビニル製ビード
- B　ネオプレンビード
- C　ポリサルファイト系シーラント
- D　シリコーン系シーラント
- E　油性パテ
- F　ガスケット

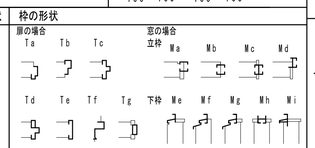
- ・シャッターの巻き上げ方式は、建具欄空欄に指示する
- ・ガラリ、防煙垂壁の固定、可動は、建具欄空欄に指示する
- ・プレス戸、アングル戸、格子戸は、建具欄空欄に指示する

ガラリの形状

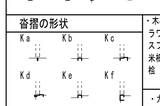


- ・ダンパー付は備考欄に指示する

枠の形状



沓摺の形状



- ・木材の材質
  - ラワン
  - スプルース
  - 米栂　杉
  - 檜　縁付
- ・枠見込み寸法の記入方法
  - 70　100、~150、~200、~250、~300、……ごとに区分し記入
- ・ガラリの場合のダクト取付アングルは備考欄に指示する

一般事項

（特記なき限り右記に依る）

扉

1. 扉は両面フラッシュとする
2. 枠及びドアガラリの材質とは扉と同一とする
3. ドアクローザーは露出型ヒューズ無しとする
4. 握玉はステンレス製としバックセットは（　）mmとする
5. 沓摺はステンレス製とする
6. 既存マスターキー　にあわせる
   グランドマスターキー　(要) 不要

窓

1. 窓には下表の附属金物一式をつけ加える

形式	
引違い・片引き	戸車・レール・締り
片開き	丁番・締り・把手・偏り止め
竪軸回転	ピボットヒンジ・締り・把手・偏り止め
横軸回転	ピボットヒンジ・締り・把手・ストッパー
とり出し	ピボットヒンジ・締り・把手・とり出しアーム
外倒し・内倒し・突出し	丁番類・締り・把手・ストッパー

2.

	見込70	見込100
気密性能	A-3	A-4
水密性能	W-4	W-5
耐風圧性能	S-4	S-6
遮音性能		

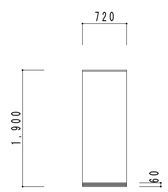
オーバースライダー

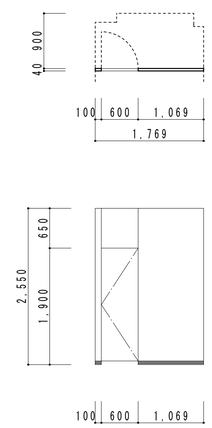
1. ガイドレール　亜鉛メッキ

耐風圧強度　1250Pa

共通記号

- S　スチール
- SUS　ステンレス
- AL　アルミ
- Br　真鍮（黄銅）
- P　プラスチック
- W　木
- TB　テラゾーブロック
- EP　酢酸ビニル樹脂エマルションペイント
- AEP　アクリル樹脂エマルションペイント
- SOP　合成樹脂調合ペイント
- VE　溶剤形塩化ビニル樹脂系ペイント
- FP　フタル酸樹脂エナメルペイント
- CL　クリヤラッカー
- OS　オイルステイン
- UC　水性ウレタン塗装
- HL　ヘアライン
- BF-A　A鏡面（#800）
- BF-B　B鏡面（#600・#700）
- LE　ラッカーエナメル
- アルマ　アルマイト処理
- メラ　メラミン化粧板
- ポリ　ポリエステル化粧板
- カラーCL　屋内用カラー木材含浸塗装
- 着色　電解二次着色
- 発色　自然発色
- 焼付　焼付塗装（　）
- 粉　粉体塗装

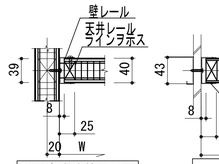




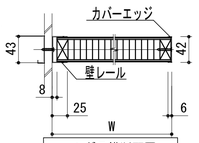
年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	有限会社 梅野設計 代表取締役 梅野克成	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	建　具　表	A1：S＝1／50 A3：S＝1／100	福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL（0942）35-2381						A－０８

トイレブース詳細図

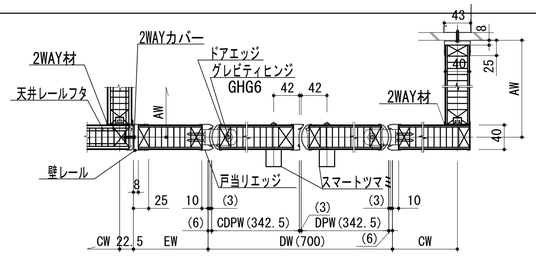
S=1/5



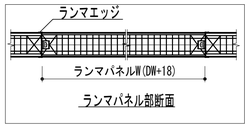
3WAY部(ER)納マリ図



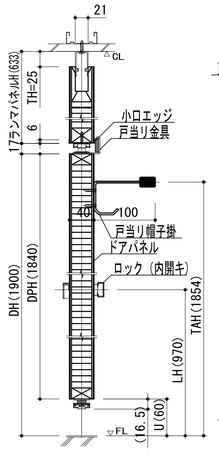
ヘダテ横断面図



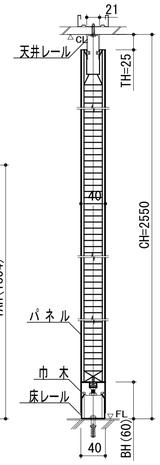
物置ドアパネル縦断面図



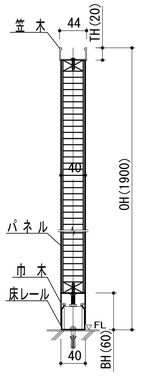
ランマパネル部断面



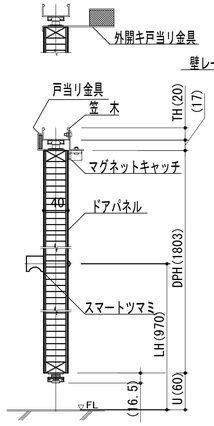
ドアパネル縦断面図
（内開き）



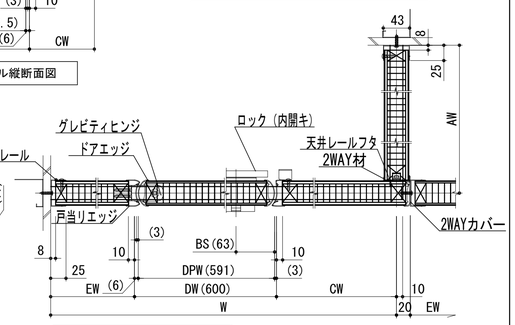
ブースパネル縦断面図



ブースヘダテ縦断面図



物置ドアパネル横断面図



ブースパネル横断面図

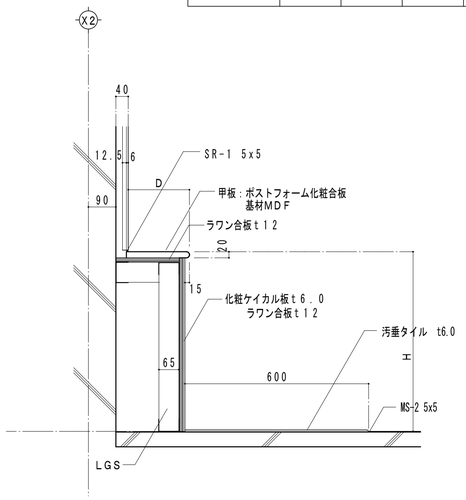
トイレブース仕様一覧表

パネル・ドア（４０ミリ厚）	表面材	高圧メラミン樹脂化粧板（ＢＭＤエンボス仕上げ）
	枠材	木製
	芯材	ペーパーコア
	エッジ（ビスレス）	アルミニウム押出形材 アルマイトクリア仕上げ
２ＷＡＹ材・天井レール		アルミニウム押出形材
笠木・壁レール		アルマイトクリア仕上げ
グレビティヒンジ		ステンレス製
ロック		ステンレス製
巾木		ＳＵＳ　ＨＬ仕上げ

甲　板　詳細図

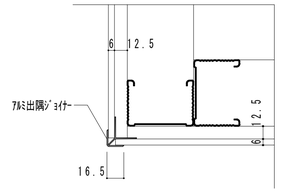
S=1/10

場所	D	L	H	個数
女子便所	260	1,740	950	1
女子便所	120	900	1,100	1
男子便所	120	1,600	950	1
男子便所	120	2,500	1,300	1



アルミジョイナー詳細図

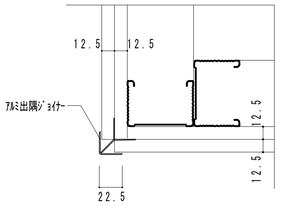
S=1/3



※　化粧ケイカル板面のコーナー部共通

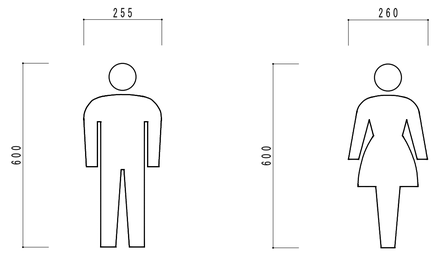
アルミジョイナー詳細図

S=1/3



※　ＰＢｔ１２．５のコーナー部共通

室名表示サイン（ピクトサイン）



１ヶ所　　１ヶ所

※　出入口戸にカッティングシート貼りとする。

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺		図面番号
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	各部詳細図	A1：S=1／3・5・10 A3：S=1／6・10・20	有限会社 梅野設計 代表取締役 梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL(0942)35-2381	A－０９

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当

久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事

Ⅰ 工 事 概 要

1．工事場所　福岡県久留米市小森野一丁目１番１号
2．完成期限　令和　３年　２月　１２日（金曜日）
3．建物概要

建　物　名　称		専門教室棟			
工　　種		改修			
構　　造		ＲＣ造			
階　　数		３階			
建築基準法による	建築面積(㎡)	221.0			
	延べ面積(㎡)	663.0			
消防法施行令別表第一の区分					
改 修 面 積 （ ㎡ ）		23.59			
備　　考					

4．工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

建物別及び屋外 ＼ 工事種別 ／ 工事種目	専門教室棟				
●電灯設備	改修一式				
○動力設備					
○電気自動車用充電設備					
○電熱設備					
○雷保護設備					
○受変電設備					
○電力貯蔵設備					
○発電設備					
○構内情報通信網設備					
○構内交換設備					
○情報表示設備					
○映像・音響設備					
○拡声設備					
○誘導支援設備					
○テレビ共同受信設備					
○監視カメラ設備					
○駐車場管制設備					
○防犯・入退室管理設備					
○火災報知設備					
○中央監視制御設備					
○構内配電線路					
○構内通信線路					
○発生材処理					

5．指定部分　●無　　○有　対象部分（　　）
　　指定部分工期　　年　月　日
6．概成工期　●無　　○有　令和　年　月　日（　曜日）
（第1編1.1.2）、［第1編1.1.2］

Ⅱ 工 事 仕 様

1．共通仕様
（１） 独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、図面３枚及び本特記仕様書２枚によるほか、●印の付いたものを適用する。
- ● 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)(以下「標準仕様書」という。)
- ● 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- ● 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(平成31年版)(以下「標準図」という。)
- ● 文部科学省電気設備工事標準仕様書(特記基準)(平成31年版)(以下「文科仕様書」という。)
- ● 文部科学省電気設備工事標準図(特記基準)(平成31年版)(以下「文科標準図」という。)
- ● 工事写真撮影要領(令和元年7月)

（２） 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。
なお、機械設備工事の特記仕様書は（　　）図、建築工事の特記仕様書は（　　）図による。

2．特記仕様
（１）本特記仕様書の表記
　１）項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。
　２）項目に記載の（第　編　．　．　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
　３）項目に記載の［第　編　．　．　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
　４）項目に記載の〈第　編　．　．　〉内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

項　目	特　記　事　項
○適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○ 風圧力 風速（Vo=　　m/s） 地表面粗度区分（ ○ Ⅰ　○ Ⅱ　○ Ⅲ　○ Ⅳ） ○ 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域　別表（　　）
●電気保安技術者 （第1編1.3.2） ［第1編1.3.2］	この工事現場に下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。

項　目　名	電気保安技術者
1.　第３種電気主任技術者以上の資格を有する者	○
2.　１級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
3.　第１種電気工事士の資格を有する者	○
4.　高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者	○
5.　旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	○
6.　公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	○
7.　２級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
8.　第２種電気工事士の資格を有する者	●
9.　短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	○

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

項　目	特　記　事　項
●施工条件 （第1編1.3.3） ［第1編1.3.3］	この工事現場では、次の施工条件による。 ・施工時間の指定　休日及び夜間 ⊙工事における騒音及び振動の発生が考えられる工程は、監督職員と協議の上施工すること。 ⊙改修部分以外については利用中のため、学生・教職員等への安全等に配慮すること。
●発生材の処理等 （第1編1.3.9） ［第1編1.9.1］	発生材の処理は，下記による。 (1)　引渡しを要するもの 1）品　名 2）引渡し先 3）集積場所 4）集積方法 (2)　特別管理産業廃棄物 1）品　名 2）処理方法 (3)　現場において再利用するもの 1）品　名 2）使用場所 (4)　再生資源化するもの 1）品　名 (5)　その他の発生材 1）品　名　上記以外のもの 2）処理方法　関係法令に従い適切に処理

項　目	特　記　事　項
●環境への配慮 （第1編1.4.1） ［第1編1.4.1］	（１）本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年２月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。 （２）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 （３）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
●機材の品質等 （第1編1.4.2） ［第1編1.4.2］	（１）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （２）下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

機　材　名

項　目	特　記　事　項
●再使用機材 ［第1編1.4.3］	・　再使用する機器は絶縁抵抗測定を行うこと ・　再使用機材の清掃において、ウェス等で落ちない汚れは中性洗剤等を使用すること

項　目	特　記　事　項
●機材の検査等 機材の検査に伴う試験 （第1編1.4.4～5） ［第1編1.4.5～6］	監督職員の行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。

機　材　名	検　査	試　験	摘　　要
照　明　器	●		搬入時外観検査

項　目	特　記　事　項
●施工調査 ［第1編1.5.1～3］	事前調査　（●本工事　○別途　） 調査項目　（●既存資料調査　○　） 調査範囲　（○図示　○　） **調査方法**　（○図示　○　）
○施工の検査等 施工の検査に伴う試験施工の立会い等 （第1編1.5.3～5） ［第1編1.6.4～6］	下記の施工部分は監督職員の施工の検査、施工の立会及び施工検査に伴う試験を受けるものとする。

施　工　部　分	検　査	立　会	試　験	摘　　要

項　目	特　記　事　項
●養生範囲 ［第1編1.7.1］	関連する工事動線
●撤去 ［第1編1.8.1～6］	機器撤去後のボルト孔や貫通穴は補修を行う
●完成時の提出図書 （第1編1.7.1～3） ［第1編1.11.1～3］	工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

名　　称	体　裁　等	部　数
●完　成　図	製　本(提出方法 ア 参照)	1　部
●　〃	仮　製　本(A1判2つ折)	2　部
●　〃	仮　製　本(A3判2つ折)	2　部
※●保守点検要領書		2　部
※●機器完成図及び説明書		2　部
※●各種試験成績書		2　部
●官公署等届出書類(写)		2　部
※●負荷設備台帳	指定書式：　○ 有　● 無	1　部
●工事写真帳	●電子媒体　●紙媒体(ﾌｧｲﾙ綴じ)	2　部
●施　工　図	電子媒体により提出(提出方法 エ 参照)	

CADデータ　（　●要　○不要　）
本工事は、次の書類については電子納品の対象とする。
● 工事写真　● 完成図
貸与する設計図のCADデータの著者名：久留米工業高等専門学校
ファイル形式：JWW
貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図作成のため以外に使用しないこと。
提出方法：ｱ.完成図製本はA1図面ファイル折り、黒表紙金文字入りとする。
ｲ.完成図仮製本は工事名等背文字入りとする。体裁は監督職員と協議。
ｳ.上記※印は完成図製本（A4判）と一緒に製本してよい。
ｴ.完成図及び※印資料、施工図図面、設計図面を電子媒体(PDF形式)にて提出する。メディア等については、監督職員と協議する。
ｵ.CADデータは完成図（SXF又はJWC形式及びPDF）を提出する。

項　目	特　記　事　項
○足場その他 （第1編2.1.1） ［第1編2.2.2］	○ 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ○ 本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ○内部足場（ ○　種　○　種）○外部足場（○　種　○　種）
○発生残土の処理 （第1編2.2.1） ［第1編2.3.1］	○ 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷均しとする。 ○
●電源周波数	○　５０Ｈｚ　　●　６０Ｈｚ

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	有限会社 梅野設計 代表取締役 梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号 TEL(0942)35-2381	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校 事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	図面番号
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	特記仕様書（１）	Ａ１：Ｓ＝Ｎ．Ｓ Ａ３：Ｓ＝Ｎ．Ｓ							特Ｅ－０１

項　　目	特　記　事　項

○耐震措置

設備機器の固定は、次によるほか、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。

（１）設計用水平地震力

機器の重量［ｋＮ］に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。

なお、特記なき場合は、設計用標準水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

機器種別		○ 特定の施設		● 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階屋上及び塔屋	機　　器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水　槽　類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機　　器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水　槽　類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・１階	機　　器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水　槽　類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの
・水槽類には燃料小出槽を含む。
・重要機器は次のものを示す。

○配電盤　○発電装置（防災用）　○直流電源装置
○交流無停電電源装置　○交換機　○自動火災報知受信機
○中央監視装置　○　○

（２）設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

○金属管の塗装及び仕上げ
（第1編2.7.1）
［第1編2.8.1］

次の露出配管は、塗装を行う。
○屋内（　　）
○屋外（　　）
○ 屋外に敷設する露出配管で溶融亜鉛メッキ仕上げを使用する場合は付着量300g/㎡以上とする。

●既存躯体への穿孔
［第1編2.11.1～5］

● 穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工すること。
● はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、下記による。
　● 走査式埋設物調査
　○ 放射線透過検査

●電気工事士

最大電力５００［ｋＷ］以上の場合においても、電気工事士法（昭和35年法律第139号）に基づく有資格者により施工を行う。

○仮設備工事
［第1編2.14.1～3］

仮電源　（○受変電　　）
　　（○発電　　）
仮設備期間　（○図示　　）

●フラッシュプレート

フラッシュプレートは、図面に特記なき場合、
（●金属製（ステンレス、新金属を含む）　●樹脂製　）とする。

●機器取付高さ

図面に特記なき場合は、表－１「機器標準取付高さ」による。

○接地極

図面に特記なき場合は、表－２「接地極一覧表」による。

●他工事又は他工種との取り合い

図面に特記なき場合は、工事区分表による。

項　　目	特　記　事　項

○電線・ケーブル等の規格
（第2編1.1.1）
（第6編1.1.1）
［第2編1.2.1］

電線・ケーブル等の規格、記号で公共仕様書に定める以外のものは下記による。

呼　　称	規　　格	記　　号

○電線保護物類の規格
（第2編1.2.1～10）
（第6編1.2.1～3）

電線保護物の規格で公共仕様書に定める以外のものは下記による。

呼　　称	規　　格	記　　号

○ケーブルの端末処理等
（第2編2.1.1）
［第2編2.1.2］

ケーブルの端末処理で、端末処理材を用いて処理する場所は下記による。

施工箇所及びケーブル種別	摘　　要

ケーブルの分岐処理で、分岐処理材を用いて処理する場所は下記による。

施工箇所及びケーブル種別 ＼ 種別	レジンモールド加工	モールド加工（工場加工）

●電線の色別
（第2編2.1.3）
（第3編1.1.4）
［第2編2.1.4］

配線及び主回路の導体の色別は、次による。
○ 標準仕様書による。
● 配線及び主回路の導体の色別は、下記による。

	電気方式	第１相	第２相	第３相	中性相
高圧	三相３線式	赤	白	青	
低圧	三相３線式	赤	接地側　白	黒	
	三相４線式	赤	青	黒	白
	単相２線式	赤（青）	接地側　白		
	単相３線式	赤	青		白
	直流２線式	青	白		

配線	（１）分岐回路の色別	分岐前の色別による。
	（２）発電回路の第２相	接地側の電線の色は黄色とする（無停電回路含む）
	（３）切替回路の２次側	規定しない。
	（４）漏電遮断器回路の接地	専用接地極とした時の接地線は、監督職員と協議し、一般接地線と色別を区別する。
分電盤類	共通事項	配線（１）～（４）による。
	左右・上下及び遠近の別は、正面から見た状態	ア）左右の別は、左からとする。 イ）上下の別は、上からとし、直流２線式は、下からとする。 ウ）遠近の別は、近いほうからとし、直流２線式は、遠いほうからとする。

備考
（ａ）配電盤類については、次による。
　（１）左右、遠近の別は、各回路部分における主となる開閉器の操作側又はこれに準ずる側から見た状態とし、分電盤類による。
　（２）三相回路又は単相３線式回路より分岐する回路は、分岐前の色別による。
　（３）三相交流の相は、第１相、第２相、第３相の順に相回転するものとする。
（ｂ）屋外架空配線の色別は、本表によらなくてよい。
（ｃ）接地線の色別は、監督職員の承諾を受けること。

○非常照明装置の照度測定箇所
（第2編2.18.2）
［第2編2.20.2］

１部屋あたり　　箇所以上測定し、監督職員に報告する。

項　　目	特　記　事　項

○特殊場所
〈第2編2.1.1～9〉

特殊場所は下記による。

特殊場所の内容	適用する場所	危険場所の種別	危険物の種類
○ 湿気の多い場所			
○ 気密性を要する場所			
○ ガス蒸気危険場所			
○ 粉じん危険場所			
○ 危険物等貯蔵場所			
○ 腐食性ガスのある場所			
○ 蟻害を受けるおそれのある場所			
○ 塩害を受けるおそれのある場所			

表－１　機器標準取付高さ

	名称	測点	取付高〔mm〕
電力共通	積算計器	地上～窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200
	分電盤	床上～中心	1,500（上限1,900以下）
電灯	スイッチ	床上～中心	1,300
	スイッチ（多機能トイレ）	床上～中心	1,100
	コンセント（一般）	床上～中心	300
	コンセント（和室）	床上～中心	150
	コンセント（台上）	台上～中心	150～200
	コンセント（車椅子用）	床上～中心	900
	ブラケット（一般）	床上～中心	2,100～2,300
	ブラケット（鏡場）	床上～中心	2,000～2,500
	ブラケット（鏡上）	鏡上端～中心	
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500（上限1,900以下）
	開閉器箱	床上～中心	1,500
	制御用スイッチ	床上～中心	1,500
雷保護	試験用接続端子箱	床上～下端	800
受変電	接地端子箱	地上～中心	500
発電	給油口ボックス	地上～給油口	1,000
構内情報通信	情報用コンセント	床上～中心	300
構内交換	端子盤（室内）	床上～下端	300
	集合保安器箱	天井下～上端	200
	壁付電話機（一般）	床上～中心	1,300
	電話用アウトレット	床上～中心	300
時計	**壁掛形親時計**	床上～中心	1,500（上限1,900以下）
	子時計	床上～中心	天井高×0.9
拡声	壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9
	壁付アッテネータ	床上～中心	1,300

	名称	測点	取付高〔mm〕
出退マルチサイン	情報・出退表示盤	床上～中心	天井高×0.9
	壁付発信機	床上～中心	1,300
	ベル・ブザー・チャイム	床上～中心	2,300
	壁付押しボタン（一般）	床上～中心	1,300
誘導支援	外部受付用インターホン（子機）	標準図による	
	壁付インターホン（上記以外）	床上～中心	1,300
	壁付呼出ボタン（多機能トイレ）	床上～中心	900、(400)
	障害者用インターホン（子機）	床上～中心	1,000～1,100
テレビ共同受信	機器収容箱	床上～中心	200
	テレビ端子・直列ユニット（一般）	床上～中心	300
	テレビ端子・直列ユニット（和室）	床上～中心	150
自動火災報知	受信機・副受信機連動制御器	床上～操作部	800～1,500
	機器収容箱	床上～操作部	800～1,500
	発信機	床上～中心	800～1,500
	警報ベル	床上～中心	2,300
	表示灯	床上～中心	2,100
	ガス検知器（都市ガス用）	天井面～中心	天井面－300
	ガス検知器（液化石油ガス）	床上～上端	300
屋外	接地極埋設標	地上～中心	600

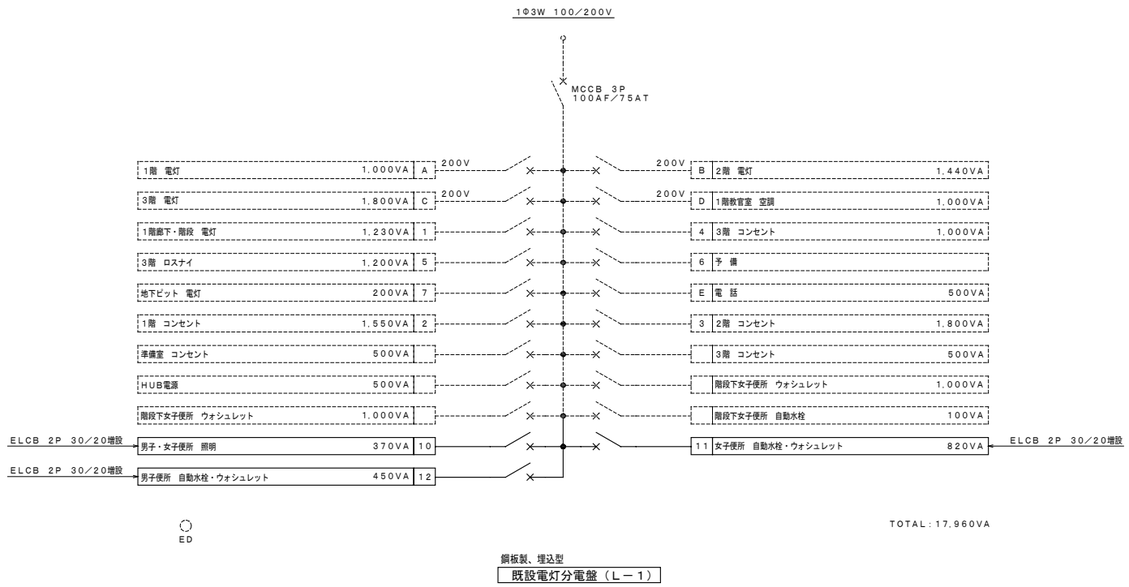
表－２　接地極一覧表

接地の種類	記号	接地抵抗	接地極の規格・数量
○ 共同接地	EA・D	10Ω以下	ＥＢ(D=14, L=1, 500又は W=40, L=1,200) ×3連－　組
○ 共同接地	EA・C・D	10Ω以下	ＥＢ(D=14, L=1, 500又は W=40, L=1,200) ×3連－　組
○ A種	EA	10Ω以下	ＥＢ(D=14, L=1, 500又は W=40, L=1,200) ×3連－ △組
○ B種	EB	Ω以下	ＥＰ(t1.5×600×600)
○ C種	EC	10Ω以下	ＥＢ(D=14, L=1, 500又は W=40, L=1,200) ×3連－ △組
○ D種	ED	100Ω以下	ＥＢ(D=10, L=1, 500又は W=40, L=1,200) ×1
○ 漏電遮断器回路用	EELCB	100Ω以下	ＥＢ(D=10, L=1, 500又は W=40, L=1,200) ×1
○ 高圧避雷器用	ELH	10Ω以下	ＥＢ(D=14, L=1, 500又は W=40, L=1,200) ×3連－　組
○ 交換装置用	Et	10Ω以下	ＥＢ(D=14, L=1, 500又は W=40, L=1,200) ×3連－　組
○ 通信用（10Ω）	EAｔ	10Ω以下	ＥＢ(D=14, L=1, 500又は W=40, L=1,200) ×3連－　組
○ 通信用（100Ω）	EDｔ	100Ω以下	ＥＢ(D=10, L=1, 500又は W=40, L=900) ×1
○ 電話引込口の保安器	ELｔ	100Ω以下	ＥＢ(D=10, L=1, 500又は W=40, L=900) ×1
○ 測定用	EO		ＥＢ(D=10, L=1, 500又は W=40, L=900) ×1

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	特記仕様書（２）	Ａ１：Ｓ＝Ｎ．Ｓ Ａ３：Ｓ＝Ｎ．Ｓ

有限会社 梅野設計 代表取締役　梅野克成
福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　ＴＥＬ(0942)35-2381

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
事務部長	総務課長	総務課長補佐	係長	担当	
					特Ｅ－０２



鋼板製、埋込型

既設電灯分電盤（Ｌ－１）

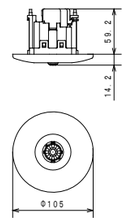
照明器具参考姿図（改修後）

ダウンライト（ＬＥＤ）

A60	LRS1－08	光束：1065lm／消費電力：7．6W			

照明制御機器参考姿図 （寸法は参考とする。）

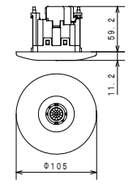
▽ 天井取付 熱線センサ付自動スイッチ（親機）（明るさセンサ付）



定 格	8A 100V AC
	検知後連続動作時間：約10秒～30分可変形）

パナソニック：WTK24818相当品

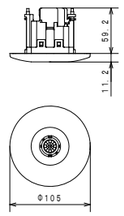
▽K 天井取付 熱線センサ付自動スイッチ（子器・換気扇接続端子付）



定 格	1A 100V AC
	検知後換気扇連続動作時間：約10秒～30分可変形）

パナソニック：WTK29318相当品

▽ 天井取付 熱線センサ付自動スイッチ（子器）

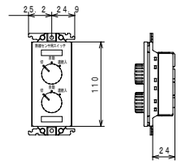


定 格	5mA 12V DC

パナソニック：WTK2910K相当品

●SS 熱線センサ用操作ユニット（２回路）（樹脂Ｐ付）

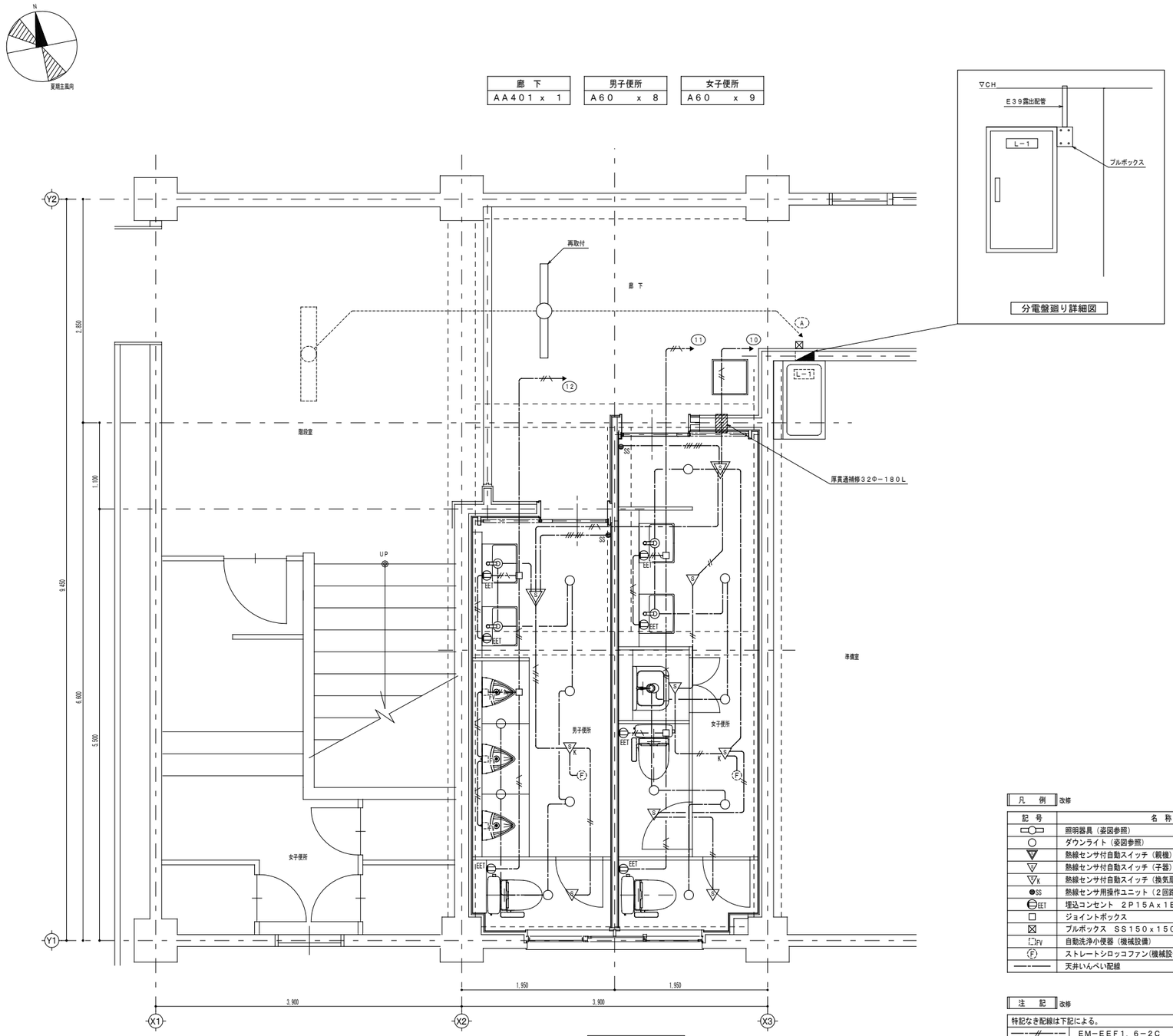
※取付高さ：ＦＬ＋1800



定 格	15A 250V

パナソニック：WTC5822W相当品

年 度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	有限会社 梅野設計 代表取締役 梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣4丁目29番11号 TEL(0942)35-2381	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校 事務部長 課長 課長補佐 係長 担当	図面番号
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	盤リスト（Ｌ－１） 照明器具・照明制御機器参考姿図（改修後）	Ａ１：Ｓ＝Ｎ．Ｓ Ａ３：Ｓ＝Ｎ．Ｓ			Ｅ－０１



平面詳細図（改修後）S＝1／30

：改修を示す
：既設を示す

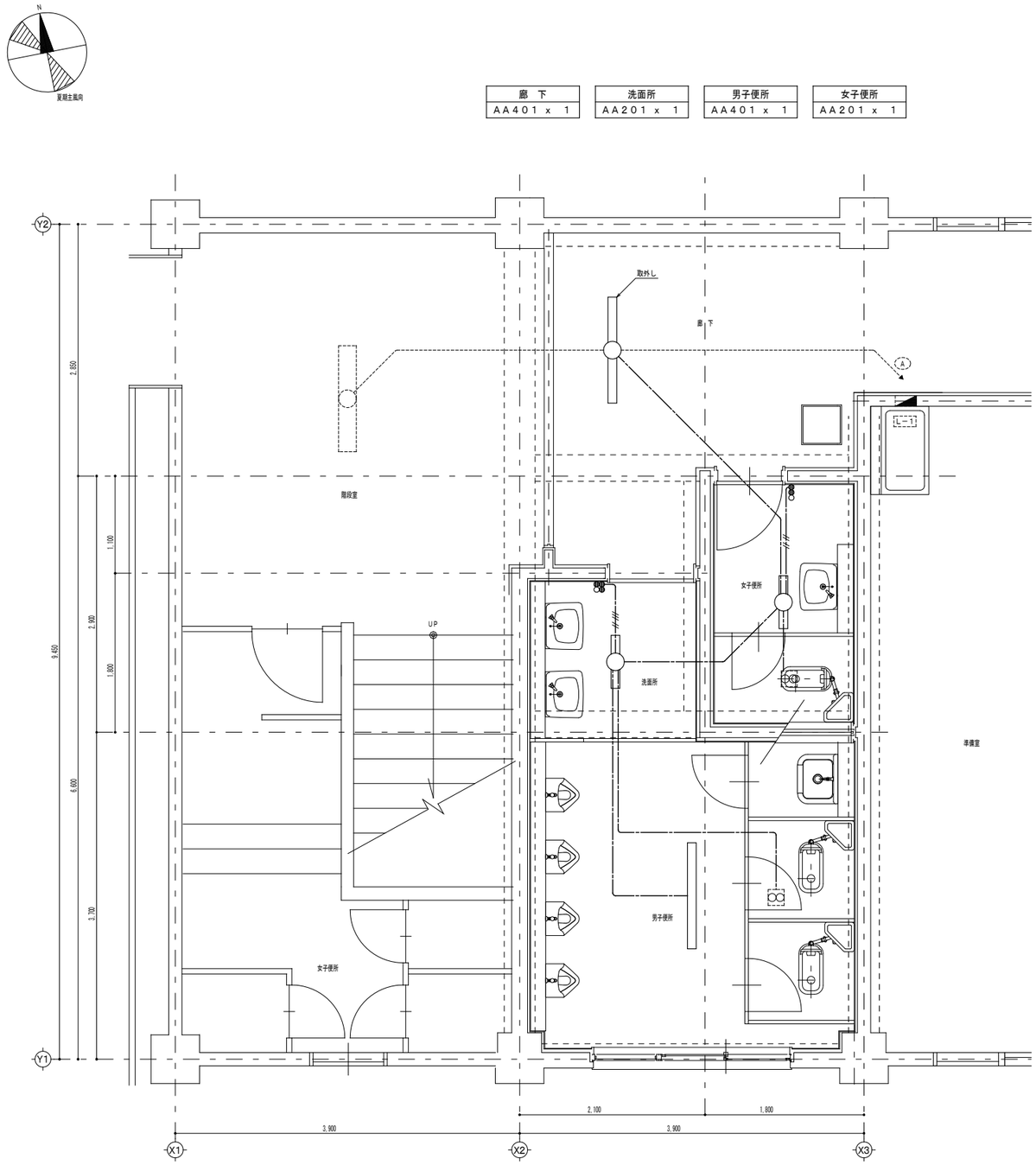
凡　例　改修

記　号	名　称
	照明器具（姿図参照）
	ダウンライト（姿図参照）
	熱線センサ付自動スイッチ（親機）（姿図参照）
	熱線センサ付自動スイッチ（子器）（姿図参照）
K	熱線センサ付自動スイッチ（換気扇接続端子付）（姿図参照）
SS	熱線センサ用操作ユニット（２回路）（樹脂Ｐ付）
EET	埋込コンセント　２Ｐ１５Ａｘ１Ｅ・ＥＴ付（新金属Ｐ付）
	ジョイントボックス
	プルボックス　ＳＳ１５０ｘ１５０ｘ１５０鋼板製（塗装仕上）
FV	自動洗浄小便器（機械設備）
F	ストレートシロッコファン(機械設備)
	天井いんぺい配線

注　記　改修

特記なき配線は下記による。
EM−EEF1．6−2C
EM−EEF1．6−3C（1CE）
EM−EEF1．6−2C+3C（1CE）
EM−EEF1．6−3Cx2
EM−EEF2．0−3C（1CE）
立下げは適合するサイズの電線管（PF）にて保護のこと。

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	有限会社 梅野設計 代表取締役 梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL(0942)35-2381	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	課長	課長補佐	係長	担当	
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備 （衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	電灯設備　平面詳細図（改修後）	A1：S＝1／30 A3：S＝1／60							E−02



平面詳細図（改修前）Ｓ＝１／３０

：撤去を示す
：既設を示す

凡　例　撤去

記　号	名　称
	照明器具（ＡＡ２０１）　：富士型　ＦＬ２０Ｗｘ１
	照明器具（ＡＡ４０１）　：富士型　ＦＬ４０Ｗｘ１
	埋込タンブラスイッチ　１Ｐ１０Ａｘ１(新金属Ｐ付)
	埋込パイロットランプ　ＰＬｘ１
	換気扇(機械設備)
	天井いんぺい配線

注　記　撤去

特記なき配線は下記による。	
	ＶＶＦ１．６－３Ｃ（１ＣＥ）
	ＶＶＦ１．６－２Ｃｘ２
	ＶＶＦ１．６－２Ｃ＋３Ｃ

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	有限会社 梅野設計 代表取締役 梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL(0942)35-2381	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	課長	課長補佐	係長	担当	
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備 （衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	電灯設備　平面詳細図（改修前）	Ａ１：Ｓ＝１／３０ Ａ３：Ｓ＝１／６０							Ｅ－０３

久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事

Ⅰ 工 事 概 要

1．工事場所　福岡県久留米市小森野町一丁目１番１号（久留米工業高等専門学校構内）

2．完成期限　令和　３年　２月　１２日（金曜日）

3．建物概要

建　物　名　称		専門教室棟			
工　　種		改修			
構　　造		ＲＣ造			
階　　数		３階			
建築基準法による	建築面積（㎡）	221.0			
	延べ面積（㎡）	663.0			
消防法施行令別表第一の区分					
改 修 面 積 （ ㎡ ）		23.59			
備　　考					

4．工事種目（●印のついたものが対象工事種目）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別			
	専門教室棟			
○空気調和設備	一式			
●換気設備	改修　一式			
○排煙設備				
○自動制御設備	一式			
●衛生器具設備	改修　一式			
●給水設備	改修　一式			
●排水設備	改修　一式			
○給湯設備	一式			
○消火設備				
○ガス設備	一式			
○雨水利用設備				
●撤去工事	改修　一式			

5．指定部分　●無　　○有　対象部分（　　）
　　指定部分工期　　年　月　日

6．概成工期　●無　　○有　令和　年　月　日（　曜日）
（第1編1.1.2）［第1編1.1.2］

7．設備概要（●印の付いたものを適用する）

方式及び種別	設　備　概　要
空調方式 主要熱源機器	○ 個別パッケージ方式 ○
自動制御方式	○電気式 ○電子式 ○デジタル式
給水方式	○高置タンク方式 ● 水道直結方式
排水方式	建物内の汚水と雑排水（○合流式　●分流式） ポンプ排水 ○有（○汚物 ○雑排水 ○湧水）　○無 排水槽　　○有（計画容量　m3）　○無 建物外放流先 （１）汚　水　●直放流下水管　（２）雑排水●直放流下水管
消火設備 の種類	○屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○泡消火設備 ○連結散水設備 ○連結送水管 不活性ガス消火設備 ○（　　）
ガスの種類	○都市ガス（種別１３Ａ、高位発熱量　　、低位発熱量 供給圧力　　Pa、一般ガス導管事業者名 久留米ガス ） ○液化石油ガス

※改修の場合は既存概要を示す

Ⅱ 工 事 仕 様

1．共通仕様

（１）独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、
図面＿5＿枚及び本特記仕様書＿2＿枚によるほか、●印の付いたものを適用する。
- ● 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)(以下「標準仕様書」という。)
- ● 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- ● 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(平成31年版)(以下「標準図」という。)
- ● 文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(平成31年版)(以下「文科仕様書」という。)
- ● 文部科学省機械設備工事標準図(特記基準)(平成31年版)(以下「文科標準図」という。)
- ● 工事写真撮影要領(令和元年7月)

（２）建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
なお、建築工事の特記仕様書は（　　）図、電気設備工事の特記仕様書は（　　）図による。

2．特記仕様

（１）本特記仕様書の表記
　１）項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。
　２）項目に記載の（第　編　．　．　）内表示番号は、標準仕様書の該当項目番号を示す。
　３）項目に記載の［第　編　．　．　］内表示番号は、改修標準仕様書の該当項目番号を示す。
　４）項目に記載の＜第　編　．　．　＞内表示番号は、文科仕様書の該当項目番号を示す。

章	項　目	特　記　事　項
●一般共通事項	○適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 風速（Vo=　　m/s） 地表面粗度区分（　　） ○積雪荷重 建設省告示第1455号における区域　別表（　　）
	●電気保安技術者 （第1編1.3.2） ［第1編1.3.2］	この工事現場に，下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。 １．第３種電気主任技術者以上の資格を有する者　○ ２．１級電気工事施工管理技士の資格を有する者　○ ３．高等学校又はこれと同等以上の教育施設において，電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者　○ ４．旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者　○ ５．公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者　○ ６．第１種電気工事士の資格を有する者　○ ７．２級電気工事施工管理技士の資格を有する者　● ８．第２種電気工事士の資格を有する者　●　※１ ９．短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者　○ 工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。
	● 施工条件 （第1編1.3.3） ［第1編1.3.3］	この工事現場では、次の施工条件による。 ・施工時間の指定　休日及び夜間 ⊙工事における騒音及び振動の発生が考えられる工程は、監督職員と協議の上施工すること。 ⊙改修部分以外については利用中のため、学生・教職員等への安全等に配慮すること。
	● 環境への配慮 （第1編1.4.1） ［第1編1.4.1］	(1)本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月閣議決定）」に定める特定調達品目の分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。 (2)建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑性（フタル酸ジｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (3)設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	●機材の品質等 （第1編1.4.2） ［第1編1.4.2］	（１）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

○機材の検査等 機材の検査に伴う試験 （第1編1.4.5～6） ［第1編1.4.5～6］	監督職員の行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。 機　材　名 ／ 検査 ／ 試験 ／ 備　考 ○ ○ ○ ○ ○ ○
●施工調査 ［第1編1.5.1～3］	事前調査 ●本工事　　○別途 調査内容 調査項目　●既存資料調査 調査範囲　○図示　○ 調査方法　○図示　○
○技能士 （第1編1.5.2） ［第1編1.6.2］	下記の職種及び作業に適用する。
●施工の検査等 検査に伴う試験・立会い等 （第1編1.5.4～6） ［第1編1.6.5～7］	下記の施工部分は，監督職員の検査・立会い・検査に伴う試験を受ける。 施　工　部　分 ／ 検査 ／ 立会 ／ 試験 ／ 備　考 隠ぺい部の配管施工状況　○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○技術検査 （第1編1.6.2） ［第1編1.7.2］	
●完成時の提出図書 （第1編1.7.1～5） ［第1編1.8.1～6］	工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。 名　称 ／ 体　裁　等 ／ 部　数 ● 完成図　製　本　（提出方法　ア　参照）　1　部 ●　〃　仮　製　本　（Ａ１判２つ折）　2　部 ●　〃　仮　製　本　（Ａ３判２つ折）　2　部 ● 保全指導書　2　部 ● 機器完成図　2　部 ● 各種試験成績書　2　部 ○ 官公署等届出書類(写)　2　部 ● 機器設備台帳　指定書式：　○有　　●無　2　部 ● 工事写真帳　●電子媒体　●紙媒体(ファイル綴じ)　1　部 ● 施工図　電子媒体により提出(提出方法 エ 参照)　1　部 ＣＡＤデータ　（●要　　○不要） ~~本工事は，次の書類について電子納品の対象とする。~~ ~~○工事写真　　○完成写真　　○完成図~~ 貸与する設計図のＣＡＤデータ著作者名：久留米工業高等専門学校 ファイル形式：ＪＷＷ 貸与条件：貸与するＣＡＤデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しない。 提出方法：ア．完成図製本はＡ１図面ファイル折り、黒表紙金文字入りとする。 イ．完成図仮製本は工事名等背文字入りとする。体裁は監督職員と協議。 ウ．上記※印は完成図製本（Ａ４判）と一緒に製本してよい。 エ．完成図（押印済）及び※印資料，施工図図面、設計図面を電子媒体(PDF形式)にて提出する。メディア等については、監督職員と協議。 オ．ＣＡＤデータは完成図（ＳＸＦ又はＪＷＣ形式及びＰＤＦ）を提出する。
○他工事又は他工種との取り合い	図面に特記なき場合は、工事区分表による。
●電動機 （第2編1.2.1） ［第2編1.2.1］	換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。
●電源周波数	○５０Hz　　●６０Hz
●容量等の表示	（１）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （２）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。
●総合試運転調整 （第2編1.3.1～3） ［第2編1.3.1～3］	●本工事　　○別途 調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。） ●風量調整　●水量調整　○室内外空気の温湿度の測定 ○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定 ○飲料水の水質の測定 ○雑用水の水質の測定　○
○足場その他 （第2編4.1.1） ［第1編2.1.1］	○別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する。（　　図参照） 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ○内部足場（　○　種　　○　種）○外部足場（○　種　　○　種）

○埋め戻し土・盛土 （第2編4.2.1） ［第2編7.1.1］	○根切り土の良質土　　○山砂の類 以下の配管は、管の周囲に山砂の類を施す。 ○ 給水 ○ 排水 ○ ガス
○建設発生土の処理方法 （第2編4.2.1） ［第2編7.1.1］	○構内敷きならしとする。　　○構外に搬出し、適切に処分する。
○耐震措置	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。 （１）機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数＿0.8＿及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度 機器種別 ／ ○特定の施設 重要機器 ／ ○特定の施設 一般機器 ／ ○一般の施設 重要機器 ／ ○一般の施設 一般機器 上層階 屋上及び塔屋 機器 2.0 1.5 1.5 1.0 上層階 屋上及び塔屋 防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5 上層階 屋上及び塔屋 水槽類 2.0 1.5 1.5 1.0 中間階 機器 1.5 1.0 1.0 0.6 中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0 中間階 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 地階・１階 機器 1.0 0.6 0.6 0.4 地階・１階 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6 地階・１階 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6 ・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの ・水槽類にはオイルタンクを含む。 ・重要機器は次による。 ［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］ ［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］ ［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］ ［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］ ［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］ （２）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。
○配管 （第2編第2章） ［第2編第2章］ ＜第2編1.1.1＞ ＜第2編2.1.1＞	（１）ステンレス鋼管の接合は、下記による。 ○呼び径６０Ｓｕ以下（ＯＳＡＳ３２２を満足した継手　○　　） （２）溶接部の非破壊検査　○不要　○要（　　）
○地中埋設標等 （第2編2.7.1～3）	（１）地中埋設標　　○要（図示による）　　○不要 （２）埋設表示テープ　○要（排水管を除く）　○不要
○管の地中埋設深さ （第2編2.7.2） ［第2編2.5.2］	埋設深さ（管の上端深さ）は原則として、 車両通行部分は（○６００mm　○　　mm） その他の部分は（○３００mm　○　　mm）以上とする。
○再生を行う場合の留意事項 ［第2編2.2.11］	
○絶縁継手 （第2編2.2.12） ［第2編2.1.1］	図示の位置に取り付ける。
○試験 （第2編2.9.1～5） ［第2編2.7.1～5］	既設配管を含む部分の試験○要（方法及び圧力：　　） ○不要
●保温 （第2編3.1.1～6） ［第2編3.1.1～3］	標準仕様書第２編によるほか次による。ただし、各工事種目で別に指定**されたものは除く。** ○多湿箇所は下記による。 室名： ○共同構内の保温種別は下記による。 ダクト：　　配管： 口径38.10mm以下の冷媒管は、冷媒用被覆断熱銅管を用いる場合は、保温材厚さは・液管で10mm以上、ガス管で20mm以上とする。ただし、液管に使用する口径9.52mm以下の配管については、保温材厚さを8mmとしてもよい。
○塗装 （第2編3.2.1） ［第2編3.2.1］	次の露出配管は、塗装又は記載の仕上げとする。 ○屋外：○ドレン管　　（○指定色塗装　○　　） ○金属電線管　（○溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ[付着量300ｇ/㎡以上] ○指定色塗装） ○屋内：○金属電線管　（○指定色塗装　○　　） ○ダクト　　（○指定色塗装）
○電線類 （第2編4.7.1）	電線及びケーブルはエコマテリアル仕様とするとする。
●既存躯体への穿孔 ［第2編5.2.1］	穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。 ●はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に下記の方法により埋設物調査を行い、監督職員に報告する。 ●走査式埋設物調査　　○放射線透過検査

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備 （衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	特記仕様書（１）	Ａ１：Ｓ＝Ｎ.Ｓ Ａ３：Ｓ＝Ｎ.Ｓ

有限会社 梅野設計 代表取締役　梅野克成
福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　ＴＥＬ(０９４２)３５－２３８１

独立行政法人　国立高等専門学校機構				
久留米工業高等専門学校				
事務部長	課長	課長補佐	係長	担当

図面番号　特Ｍ－０１

○空気調和設備

○設計温湿度

	外気		屋内					
	一般系統		一般系統		個別系統(目標値)			
	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度
夏季	34.8℃	57.1%	26.0℃	成行	℃	%	℃	%
冬季	1.8℃	59.2%	20.0℃	成行	℃	%	℃	%

○鋼板製煙道
（第3編1.1.3）
［第3編1.1.1］

鋼板厚（○３．２mm　○４．５mm）

○ダクト
（第3編1.14.1
～3）
［第3編1.2.1］

低圧ダクト（○コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
○アングルフランジ工法　　）
○スパイラルダクト（○低圧　○　　）
○高圧１ダクト（範囲は図示による。）

○チャンバー
（第3編1.14.4）
［第3編1.2.1］

（１）内貼を施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（２）空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。
（３）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバーは雨水の滞留のないように施工する。

●ダンパー
（第3編1.15.6
～14）
［第3編1.3.1］

（１）防煙ダンパー　　復帰方式 遠隔復帰式(定格入力DC24V)
（２）ピストンダンパー　復帰方式 遠隔式
（３）風量調整ダンパー　手動式

○配管材料
（第2編2.1.1
～2）
［第2編2.1.1］
＜第2編2.1.1＞

配管材料は（ ○下記による。 ○図示による。）
（１）蒸気管　給気管　○
　　還管　　○
（２）油管　　○
（３）冷温水管　　○
（４）冷却水管　　○
（５）ドレン管　　○
（６）冷媒管　　○

○弁類
（第2編2.2.1
～6）
［第2編2.1.1］

○図面に特記なき場合の耐圧は、ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ とする。
○ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
○ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往･還）には、ボール弁を取付ける。
○

○油面制御装置
（第2編2.3.5）

制御盤には（○給油ポンプ制御 ○返油ポンプ制御 ○漏えい検知警報
○満油警報 ○減油警報 ○遠隔警報）の端子を設ける。なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。

○保温及び消音内貼
（第2編3.1.1
～2）
［第2編3.1.1］
［第2編3.1.3］

標準仕様書第２編３．１．４によるほか、次による。
○蒸気還り管の保温不要（屋内露出は除く。）
○還気ダクトの保温要（保温の厚さ２５mm、範囲は図示による。）
○外気ダクトの保温要（保温の厚さ２５mm、範囲は図示による。）
○膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。
○建物内のエア抜き管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４の温水管の項による。（エア抜き弁以降の配管は除く。）
○空気調和機、ファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第２編３．１．５の排水管の項による。
○冷媒管の保温外装は次による。
　○図示による
　○屋内露出箇所　（○　　）
　○屋外露出箇所　（○　　）

●換気設備

●ダクト
（第3編1.14.1
～3）
［第3編1.2.1］
＜第3編1.2.1
～4＞

○低圧ダクト（○コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
○アングルフランジ工法　　）
●スパイラルダクト（●低圧　○　　）
○高圧１ダクト（範囲は図示による。）
○厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第３編２．２．２．２のダクトの板厚の項より１番手厚いものとする。（範囲は図示による。）

●ダンパー
（第3編1.15.6）
～14）
［第3編1.3.1］

空気調和設備の当該項目による。

○シールする排気ダクトの系統

○厨房系統　○浴室（シャワー室、脱衣所を含む）
○

○チャンバー
（第3編1.14.4）
［第3編1.2.1］

空気調和設備の当該項目による。

○保温
（第2編3.1.4）
［第2編3.1.3］

○全熱交換ユニット用の外気取入れダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。
○全熱交換ユニット用の排気用ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。
○（　○厨房　　○湯沸室　）の隠ぺい部ダクトの保温の仕様及び範囲は図示による。

○排煙設備

○ダクト
（第3編1.14.1）
［第3編1.2.1］

○亜鉛鉄板　○普通鋼板（厚１．６mm）

○排煙口の形式

○パネル形　（○天井取付　　○壁取付）
○スリット形（○天井取付　　○壁取付）
○ダンパー形（○天井内取付　○　　）

○排煙口開放及び復帰方式

○電気式（遠隔操作 ○要　○不要）

○排煙風量測定

建築設備定期検査業務基準書 ２０１６年版（(一財)日本建築設備･昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準じる。

○自動制御設備

○システム構成その他

別図による。

○電気計装用配線
（第4編1.5.1）
［第4編1.2.1］

屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。
天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。

●衛生器具設備

●自動洗浄装置及びその組み込み小便器

●個別感知フラッシュ方式（　　）

●自動水栓の電源種別
（第5編1.7.7）
［第5編1.1.1］

●ＡＣ電源　○自己発電　○

○衛生器具ユニット
（第5編1.1.3）
［第5編1.1.1］

別図による。

●給水設備

●配管材料
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料は（ ○下記による。 ●図示による。）
（１）一般配管　　○
　　　　　　　　○
（２）地中埋設配管　○
　　　　　　　　○
（３）水道直結配管　○引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中埋設配管は（○　　）とし、他の部分は（１）による。

○量水器
（第2編2.2.16）
［第2編2.1.1］

○親ﾒｰﾀｰ（○現地表示式(直読式)　○遠隔表示式(○電文式　○ﾊﾟﾙｽ式)）
　（○貸与品　○　　）
○子ﾒｰﾀｰ（○現地表示式(直読式)　○遠隔表示式(○電文式　○ﾊﾟﾙｽ式)）
　（○買取り　○　　）

○量水器桝
（第5編1.8.4）
［第5編1.1.1］

○水道事業者指定品（○ 貸与品　○買取り）　○標準図ＭＣ形

●弁類
（第2編2.2.1
～6）
［第2編2.2.1］

○図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋ とする。
○ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
●水道直結部分の耐圧は、１０Ｋとする。

○水栓柱
（第2編2.2.23）
［第2編2.1.1］

○

○管の地中埋設深さ
（第2編2.7.2）
［第2編2.5.2］

埋設深さ（管の上端深さ）は原則として、
車両通行部分は（○６００mm　○　　mm）
その他の部分は（○３００mm　○　　mm）以上とする。

○建築物導入部

○建築物導入部の変位吸収方法は、標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領　）による。
（○（ａ）　○（ｂ）　○（ｃ））
○別図による。

○引込納付金等

○要（○本工事（　　）　○別途）　○不要

●排水設備

●配管材料
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］
＜第2編2.1.1＞

配管材料は（ ○下記による。 ●図示による。）
（１）屋内　汚水管　　○　　○
　　雑排水管　○
　　通気管　　○
　　ﾎﾞﾝﾌﾞｱｯﾌﾟ管　○
（２）屋外　第一桝まで　○
　　　　　　○
　　桝間　　○

○台所流し等の排水管

○満水試験継手

図示の位置に取り付ける。

○放流納付金等

○要（本工事（　　）　○別途）　○不要

○給湯設備

○配管材料
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料は（ ○下記による。 ○図示による。）
○

○弁類
（第2編2.2.1
～6）
［第2編2.2.1］

○図示による。（特記なき場合の耐圧は、５Ｋ とする。）
○ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
湯沸器の給排気筒（二重管）の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第２編

○保温
（第2編3.1.5）
［第2編3.1.3］

３．１．５表２．３．５のｈ・（イ）・Ⅸとする。

○消火設備

○配管材料
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料は（ ○下記による。 ○図示による。）
（１）屋内消火栓　一般 ○
　　　　　　　地中 ○
（２）連結送水管　一般 ○
　　　　　　　地中 ○
（３）　　○

○屋内消火栓種別
（第5編1.5.2）
［第5編1.2.1］

○広範囲型２号消火栓　○易操作性１号消火栓　○１号消火栓
○２号消火栓

○屋内消火栓開閉弁
（第5編1.5.2）
［第5編1.2.1］

○１０Ｋ

○地中埋設配管の接合

外面被覆鋼管の呼び径１００Ａ以下はねじ接合とする。

○保温
（第2編3.1.5）
［第2編3.1.3］

○屋外露出部分　○有（○ｅ２・(ハ)・Ⅶ　○　　）　○無

○不活性ガス消火設備
（第5編1.5.6）
［第5編1.2.2］

別図による。

○泡消火設備
（第5編1.5.8）

別図による。

○ガス設備

○配管材料
（第6編2.1.1）
［第6編2.1.1］
（第6編3.1.1）

配管材料は（ ○下記による。 ○図示による。）
○都市ガス　　一般ガス導管事業者の供給規定による。
○液化石油ガス

○メーター
（第6編2.1.7）
［第6編2.1.1］

○親メーター（○実測式　○パルス式　）（○貸与品　○　　）
○子メーター（○実測式　○パルス式　）（○買取り　○　　）

○ガス漏れ警報器
（第6編2.1.3）
［第6編2.1.1］

○本工事（図示による）　○別途工事
外部警報端子（○無　○有　）

○医療ガス設備工事

○一般事項
（第11編1.1.1
～3）

1）ガスの種別は、下記による。
○ 酸素　○ 亜酸化窒素（笑気）　○ 治療用空気　　○ 二酸化炭素
○ 吸引（○ 水封式　○ 油回転式）　○麻酔ガス排除（排ガス）
○ 圧縮空気（○ 治療用　○手術機器駆動用）
○ 手術器械駆動用窒素

○機　材
（第11編2.1.1
～3）

○施　工
（第11編2.2.1）
～2.3.1）

○特殊ガス等設備工事

○一般事項
＜第5編1.1.1
～2＞

1）ガスの種別は、下記による。
○窒素ガス（○高純度　○一般）　○ヘリウムガス（○高純度　○一般）
○水素ガス（○高純度　○一般）　○酸素ガス（一般）
○アルゴンガス（○高純度　○一般）　○炭酸ガス（一般）
○圧縮空気（○高純度　○一般）　○圧縮空気（空気圧縮機）

○機　材
＜第5編2.1.1
～2.4.3＞

○施　工
＜第5編3.1.1
～3.2.8＞

○雨水利用設備

○システム構成その他

別図による

○配管材料
（第2編2.1.2）
［第2編2.1.1］

配管材料は（ ○下記による。 ○図示による。）
（１）一般配管　○
（２）集水管　　○

○量水器
（第2編2.2.16）
［第2編2.1.1］

○現地表示式（直読式）　○遠隔表示式（パルス式）

○弁類
（第5編1.9.1）
［第5編1.1.1］

○図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋ とする。

○さく井設備

○事前調査
（第7編1.2.1）

下記の項目について事前調査を行う。

○揚水井
　○既設井分布調査
　○法的規制調査
　○地表探査
　（探査方法：電気探査の比例抵抗法）
　（測定方法：直流型方式）
　（解析方法：標準曲線法）

○地中熱交換井
　○既設井分布調査
　○法的規制調査
　○地質情報の収集、整理
　○伐採井による熱交換効率の把握
　（熱応答試験方法：　　）
　○周辺環境調査（騒音・振動測定）

○掘削
（第7編2.1.1）
（第7編3.1.1）

掘削工法は下記による。
○パーカッション式
○ロータリー式
○ダウンザホールハンマ式
○回転振動式
○ロータリーパーカッション式

○試験
（第7編3.1.4）

地中熱交換器挿入完了後の水圧試験は下記による。

●撤去工事

●撤去内容
［第1編4.1.1
～4.2.4］

図示による。

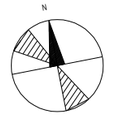
●発生材の処理等
［第1編5.1.1
～2］

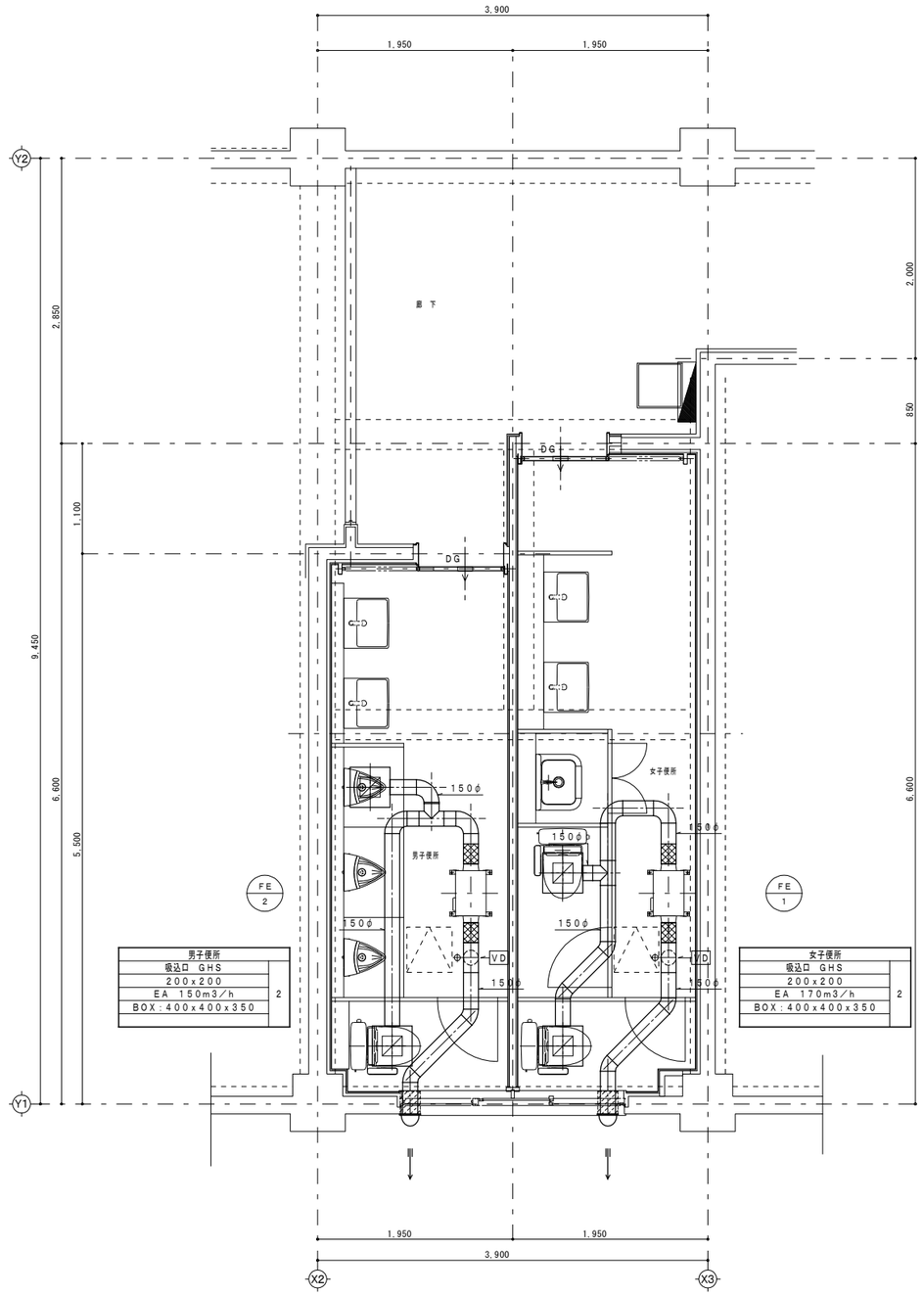
発生材の処理は、下記による
(1)　引渡しを要するもの
　1）品　　名
　2）引渡し先
　3）集積場所
　4）集積方法
(2)　特別管理産業廃棄物
　1）品　　名　　2）処理方法
(3)　現場において再利用するもの
　1）品　　名
　2）使用場所
(4)　再生資源化するもの
　1）品　　名
(5)　その他の発生材
　1）品　　名　陶器類、ｺﾝｸﾘｰﾄがら、保温材、金属くず　　2）処理方法　産業廃棄物処理

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	特記仕様書（２）	Ａ１：Ｓ＝Ｎ.Ｓ Ａ３：Ｓ＝Ｎ.Ｓ

有限会社 梅野設計 代表取締役　梅野克成
福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL(0942)35-2381

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
事務部長	課長	課長補佐	係長	担当	特Ｍ－０２





男子便所	
吸込口 GHS	2
200x200	
EA 150m3／h	
BOX：400x400x350	

女子便所	
吸込口 GHS	2
200x200	
EA 170m3／h	
BOX：400x400x350	

平面詳細図（改修後）　S＝1／30

機器表（改修後）

記号	機器名称	機器仕様	台数	電源 φ	電源 V	参考消費電力 W	設置場所等
FE 1	ストレートシロッコファン	天井埋込消音形	1	1	100	65.0	1階　女子便所
		#1 1／4x340m3／hx70Pa					
		付属品：天吊金具，その他標準付属品　共					
FE 2	ストレートシロッコファン	天井埋込消音形	1	1	100	65.0	1階　男子便所
		#1 1／4x300m3／hx50Pa					
		付属品：天吊金具，その他標準付属品　共					
	深形フード	アルミ製　150φ（ギャラリ付）	2				

特記）（1）機器の消費電力は、参考値とする。
（2）標準付属品は、全て含むものとする。
（3）許容騒値測定は、JIS B 8330 によるものとする。
（4）天井隠蔽機種には天井点検口（450□）：1箇所取付（建築工事）
（5）天井点検口（建築工事）は、ダクト等と干渉無き位置に設置する事。

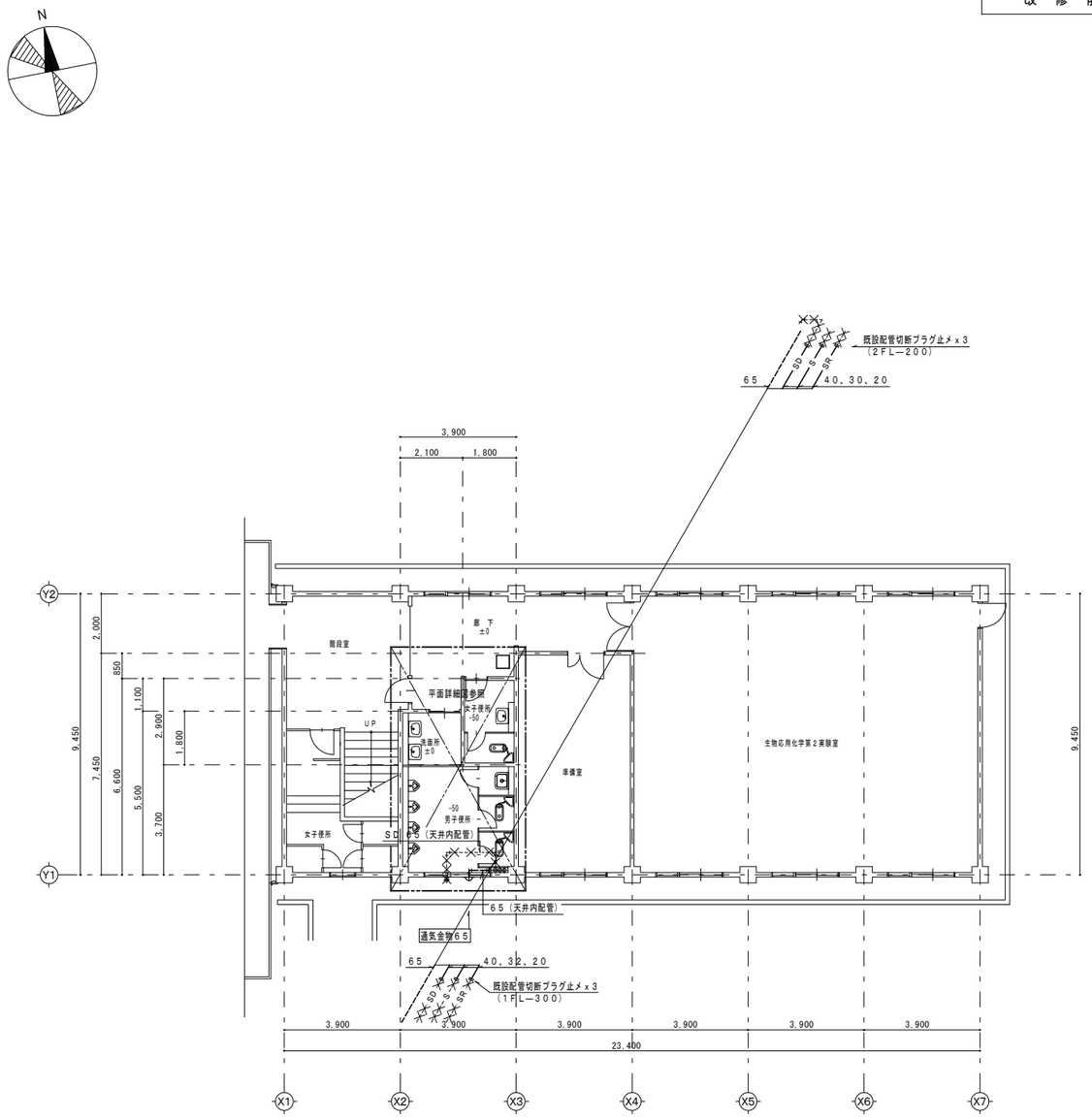
凡例（改修後）

シンボル	名称	使用材料名	備考
	円形ダクト	亜鉛鉄板製スパイラルダクト（低圧ダクト）	
		既設スリーブ使用部	

特記）（1）DG は、ドアギャラリーヌはアンダーカット（建築工事）を示す。
（2）VD設置箇所には、天井点検口450角（建築工事）を設ける事。

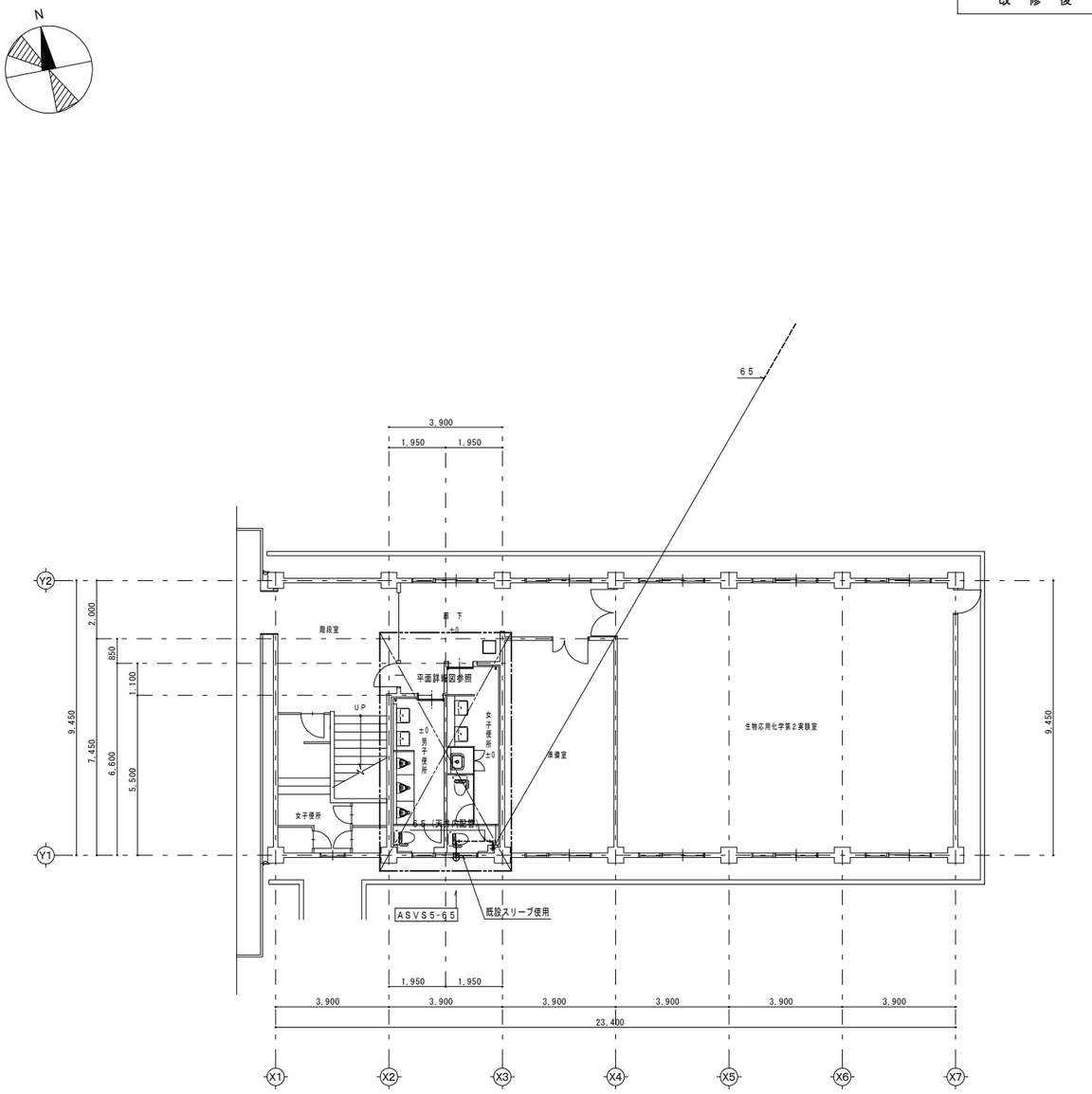
年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	有限会社 梅野設計 代表取締役 梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣4丁目29番11号 TEL(0942)35-2381	独立行政法人 国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校 事務部長	課長	課長補佐	係長	担当	図面番号
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	換気設備　機器表・凡例・平面詳細図（改修後）	A1：S＝1／30 A3：S＝1／60							M－01

改　修　前



１階平面図（改修前）　　Ｓ＝１／１００

改　修　後



１階平面図（改修後）　　Ｓ＝１／１００

年　度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺						図面番号
						有限会社 梅野設計 代表取締役 梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣４丁目２９番１１号　TEL（0942）35-2381	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				
							事務部長	課長	課長補佐	係長	担当	
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備 （衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	衛生設備　１階平面図（改修前・後）	Ａ１：Ｓ＝１／１００ Ａ３：Ｓ＝１／２００							Ｍ－０２

器具表（改修後）

名称	仕様（参考品番：TOTO）／設置場所	男子便所	女子便所		合計	備考
大便器	CFS497B、TCF585S（温水洗浄便座　擬音装置付　1φ100V　316W）、YH702（棚付二連紙巻器）、その他標準付属品　共	1	2		3	
自動洗浄小便器	UFS900R（1φ100V）	3			3	
壁掛洗面器	L710C、TENA41AJ（自動単水栓1φ100V）、Pトラップ、T9R、T8C、その他標準付属品　共	2	2		4	
掃除用流し	SK22A、TK22、T23AEQ20C（レバー水栓）、TN114、T9R、HH04060x2、Sトラップ、その他標準付属品　共		1		1	
盗難防止形耐食鏡	YM4560FE　450x600	2	2		4	
全身鏡	YMK50K　300x1500		1		1	

特記（1）器具選定に当たっては（参考品番：TOTO）同等品以上とする。
（2）給水箇所は、吐水口空間確保の事。

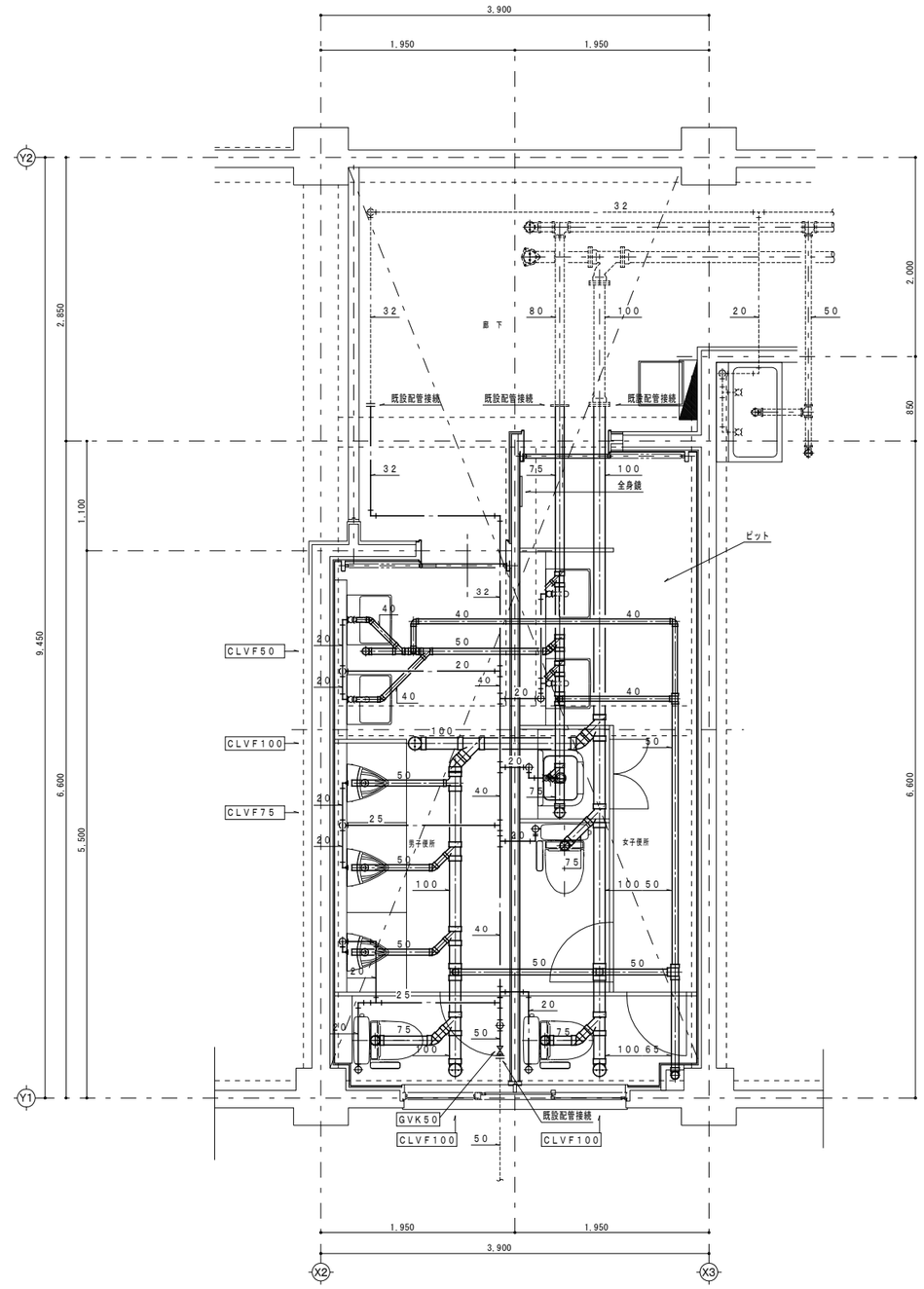
凡例（改修後）

シンボル	名称	使用材料名	備考
——— − ———	給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP−VD）　JWWA K 116	ピット内配管
———	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　JIS K 6741	ピット内配管
——— (———	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　JIS K 6741	ピット内配管
- - - - - - - -	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　JIS K 6741	一般配管・ピット内配管
—⋈— GVK	仕切弁	（JIS10K）　管端防食コア付　50A以下	
———	新設配管		
- - - - - - - -	既設配管		
▨		ダイヤモンドカッターはつり補修部	
▨		既設スリーブ	

ダイヤモンドカッター補修リスト

場所	管種	配管サイズ	サイズ	位置	箇所数
女子便所	給水管	20A	50φ x 200L	床	4
	排水管	75A	125φ x 200L	〃	2
	〃	65A	100φ x 200L	〃	1
	〃	40A	75φ x 200L	〃	2
	通気管	65A	100φ x 200L	〃	1
	掃除口	100A	150φ x 200L	〃	1
	〃	75A	125φ x 200L	〃	1
男子便所	給水管	25A	50φ x 200L	床	1
	〃	20A	50φ x 200L	〃	3
	排水管	75A	125φ x 200L	〃	1
	〃	50A	88φ x 200L	〃	3
	〃	40A	75φ x 200L	〃	2
	掃除口	100A	150φ x 200L	〃	2
	〃	50A	88φ x 200L	〃	1

特記（1）配管の床貫通部は、極力既設穴を利用する事。
（2）ダイヤモンドカッターによるコア抜きは、事前に鉄筋探査機を用いて調査後施工の事。（梁のコア抜き厳禁）
（3）▨は、ピット部を示す。



平面詳細図（改修後）　S＝1／30

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺		独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校					図面番号
							事務部長	課長	課長補佐	係長	担当	
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	衛生設備　器具表・凡例・平面詳細図（改修後）	A1：S＝1／30 A3：S＝1／60	有限会社 梅野設計 代表取締役 梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣4丁目29番11号　TEL（0942）35-2381						M−03

機器表（改修前）

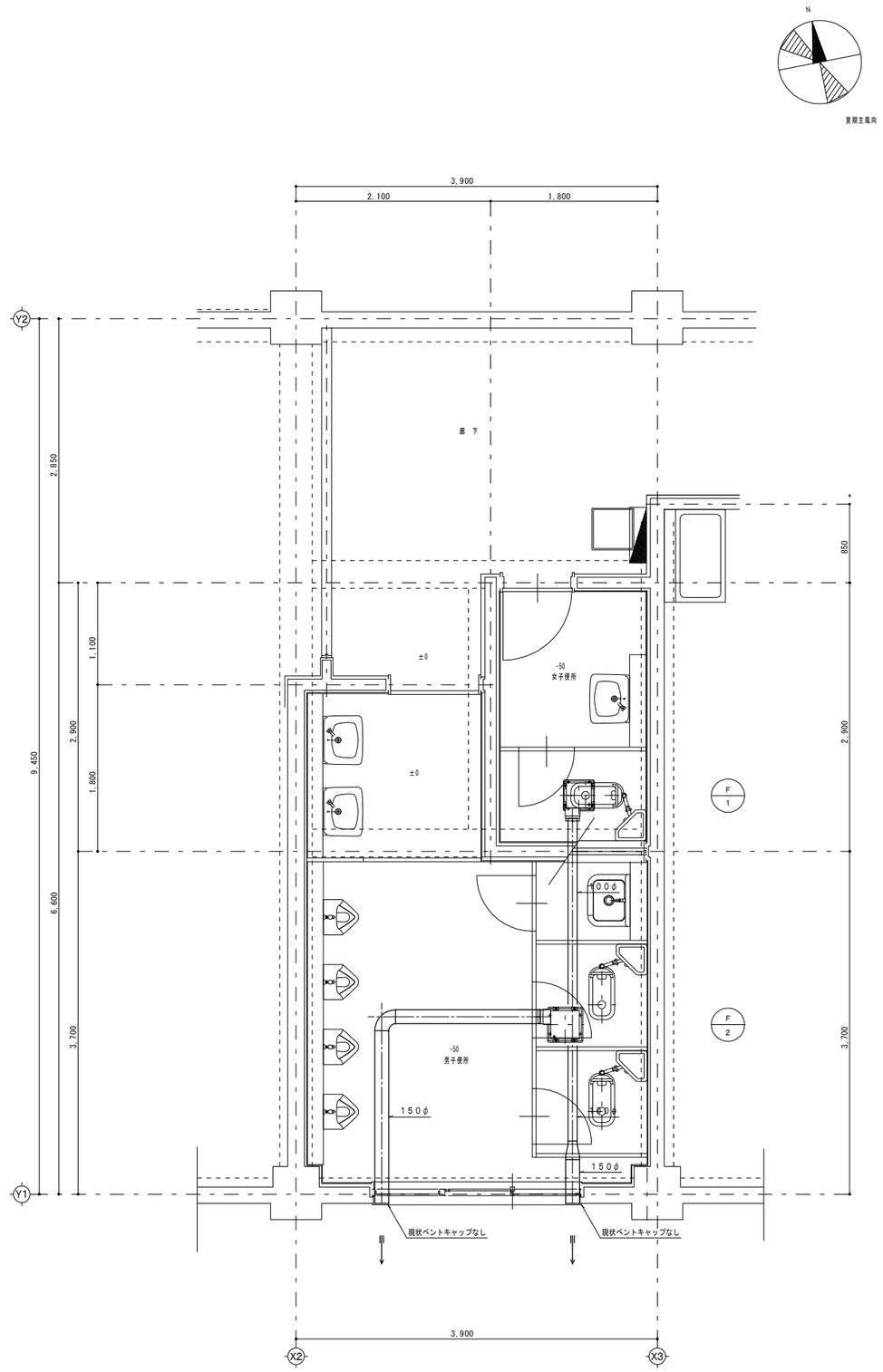
記号	機器名称	機器仕様	台数	電源 φ	電源 V	参考消費電力 W	設置場所等
F 1	ダクト用換気扇	天井埋込形　130m3／h x 60Pa	1	1	100	85.0	1階　女子便所
		外形寸法：320x320x196　重量：5.0kg					
F 2	ダクト用換気扇	天井埋込形　350m3／h x 60Pa	1	1	100	135.0	1階　男子便所
		外形寸法：350x350x206　重量：5.8kg					

特記）（1）全て撤去し、産廃処分とする。

凡例（改修前）

シンボル	名称	使用材料名	備考
	円形ダクト	亜鉛鉄板製スパイラルダクト（低圧ダクト）	

特記）1.図示撤去対象設備は、全て撤去の上適切に産業廃棄物処理を行うこと。



平面詳細図（改修前）　S＝1／30

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺		図面番号
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	換気設備　機器表・凡例・平面詳細図（改修前）	A1：S＝1／30 A3：S＝1／60	有限会社 梅野設計 代表取締役 梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣4丁目29番11号　TEL(0942)35-2381	M－04

独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校				
事務部長	課長	課長補佐	係長	担当

器具表（改修前）

名称	仕様（TOTO品番） ＼ 設置場所	男子便所	女子便所		合計	備考
和風便器	C375VF、S570B、TS116RAY、その他標準付属品　共	2	1		3	
床置小便器	U307、手動FV、その他標準付属品　共	4			4	
壁掛洗面器	L220D、T205（立水栓）、Pトラップ、その他標準付属品　共	2	1		3	
掃除用流し	SK22A、T23AE19、Sトラップ、その他標準付属品　共	1			1	
化粧鏡	TS119AS3　363x455	2	1		3	

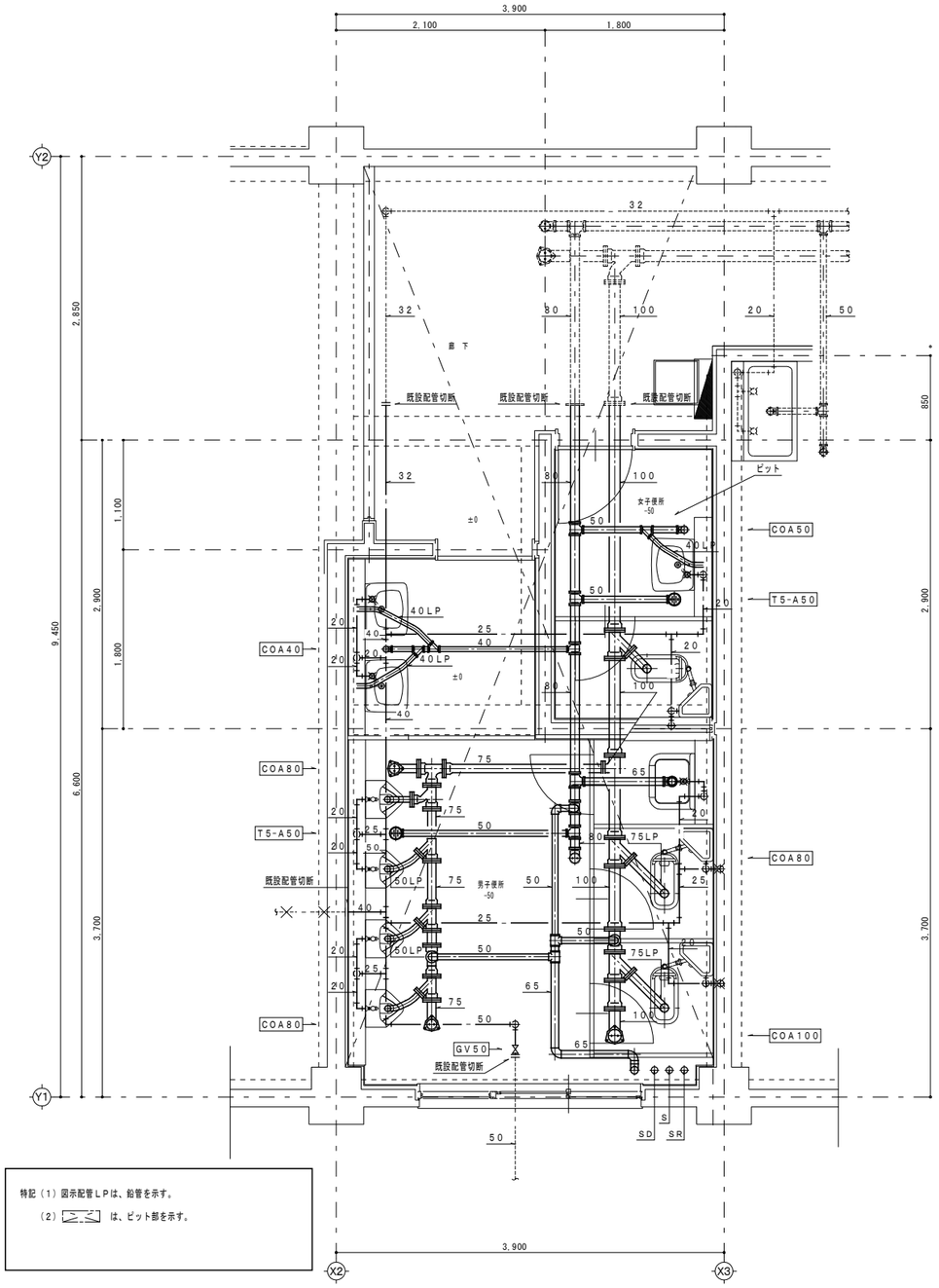
特記）（1）全て撤去し、産廃処分とする。

凡例（改修前）

注）特記無き配管は下記による

シンボル	名称	使用材料名		備考
—— – ——	給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP−VB）	JWWA K 116	ピット内配管
————	排水管	配管用炭素鋼鋼管（SGP白）	JIS G 3452	ピット内配管
——(——	汚水管	排水用鋳鉄管		ピット内配管
- - - - - -	通気管	配管用炭素鋼鋼管（SGP白）	JIS G 3452	ピット内配管・屋内露出配管
—— S ——	蒸気管（送り）	配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）	JIS G 3452	
—— SR ——	蒸気管（返り）	配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）	JIS G 3452	
—— SD ——	安全弁排気管	配管用炭素鋼鋼管（SGP黒）	JIS G 3452	
—⊳⊲— GV	仕切弁	（JIS10K）		
————	撤去配管			
- - - - - -	既設配管			
—×—×—×—	残置配管			

特記）1.図示撤去対象設備は、全て撤去の上適切に産業廃棄物処理を行うこと。



特記（1）図示配管LPは、鉛管を示す。
（2）▽ は、ピット部を示す。

平面詳細図（改修前）　S＝1／30

年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	有限会社 梅野設計 代表取締役 梅野克成 福岡県久留米市宮ノ陣4丁目29番11号　TEL(0942)35-2381	独立行政法人　国立高等専門学校機構 久留米工業高等専門学校 事務部長	課長	課長補佐	係長	担当	図面番号
令和２年度	令和２年９月	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事設計業務	久留米工業高専基幹・環境整備（衛生対策）工事	衛生設備　器具表・凡例・平面詳細図（改修前）	A1：S＝1／30 A3：S＝1／60							M−05